

平成28年度(2016年度)

国際教育

地球市民を地域とともに育てよう Part 15

報告書



公益財団法人滋賀県国際協会

はじめに

2016年は、新たな歴史を刻むことがたくさんありました。

5月27日には、アメリカ現職大統領として初めてオバマ氏が広島を訪問し、広島平和記念資料館を見学した後、平和記念公園で演説されました。また12月28日には、初めて日本の安倍首相が現職のアメリカ大統領と共に真珠湾を慰霊訪問し、戦後の日米同盟や寛容の心と和解の力を世界へ向けて発信しました。

6月には、イギリスでは国民投票の末、欧州共同体（EU）からの離脱を決定。テロや移民・難民の問題に揺れるヨーロッパや中東は、解決していかなくてはならない課題が山積しています。

そして、トランプ大統領の下で変わりゆくアメリカ、覇権主義を強める中国と他のアジアの国々との関係や孤立感を増す北朝鮮の動向など、私たちの生活にも深く絡んでいくような動きが、世界中で目まぐるしく起こっています。

また、国内に目を向けると、外国人労働者の人口は100万人を超え、超高齢化社会となった日本の経済活動は、今後ますます外国からの人材に期待するところが大きくなってきています。

そして、日本における難民の受け入れについては、法務省の速報によると、2016年度の難民認定申請者数は一万件を超えたものの、実際に認定されたのは28人。人道上的配慮を理由に在留を認められたのが97人で、これらを合わせても125人と発表されました。先進国の中で、もっとも難民の受け入れに積極的ではない現状に、世界各国から厳しい目が向けられていることも事実です。

世界の大きな潮流のなかで、私たちは何を見て、聞いて、思い、考え、行動するのか、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点も取り入れながら、地球市民を育てていく必要性をひしひしと感じています。

今年度の国際教育に関する事業の報告をまとめました。みなさまの今後の国際教育の実践の一助となれば幸いです。

平成29年（2017年）3月
公益財団法人滋賀県国際協会

目 次

◇ はじめに	1
◇ 目 次	2

実績報告

◇ 国際教育ワークショップ	3
地球市民を地域とともに育てよう Part 15	
「身近な題材から国際理解につなげる授業のつくり方」	
講 師 千葉 保さん 元神奈川県小学校校長 元國學院大学文学部兼任講師	
開催日 平成29年（2017年）1月28日（土）	
会 場 ピアザ淡海305会議室	
主 催 公益財団法人滋賀県国際協会	
共 催 独立行政法人国際協力機構関西国際センター（JICA関西）	
協 力 国際教育研究会 Glocal net Shiga	
◇ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 Part 7	24
開催日 平成28年（2016年）6月19日（土）	
会 場 ピアザ淡海203・204会議室	
主 催 公益財団法人滋賀県国際協会	
共 催 独立行政法人国際協力機構関西国際センター（JICA関西） 国際教育研究会 Glocal net Shiga	

資料集

◇ 滋賀県における外国人人口統計	35
◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga活動報告	36
◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介	39
◇ 講師派遣事業について	57

実績報告

国際教育ワークショップ 報告

地球市民を地域とともに育てよう Part 15
「身近な題材から国際理解につなげる
授業のつくり方」

国際教育教材体験フェア in 滋賀 報告

(公財)滋賀県国際協会 平成28 (2016) 年度 国際教育ワークショップ

地球市民を地域とともに育てようpart 15

身近な題材から国際理解につなげる授業のつくり方

午前の部 「カップ麺」や「コンビニ弁当」を通して、授業づくりや国際理解を考える

講師の紹介



千葉 保さん

1945年、宮城県生まれ。神奈川県鎌倉市の小学校教員をへて、1998～2006年神奈川県三浦市の小学校校長。2016年3月まで國學院大学文学部兼任講師をつとめる。「使い捨てカメラ」「ハンバーガー・コネクション」の授業など、身近な題材を斬新な切り口で社会の問題へとつなぐ授業を続けてきた。主著に『コンビニ弁当 16万キロの旅』『お金で死なないための本』など。

導入～漢字の「食」から考える

おはようございます。午前中はみんなで「食べ物」について考えてみたいと思います。はじめに「食べる」という漢字について考えてみましょう。これはどうやってできたのでしょうか。グループに分かれて自己紹介をしながら、考えてみてください。



では、3300年前にできた漢字を見ながら、トレーニングしてみましょう。これはよく給食に出てくるものですが、何と読むかわかりますか？

右側は、お母さんが赤ちゃんを抱っこしておっぱいをあげている形。左側は、「牛」です。つまり「牛乳」ですね。感じがつかめたでしょうか。

「食」の漢字は食器からできました



今の漢字では何でしょう？



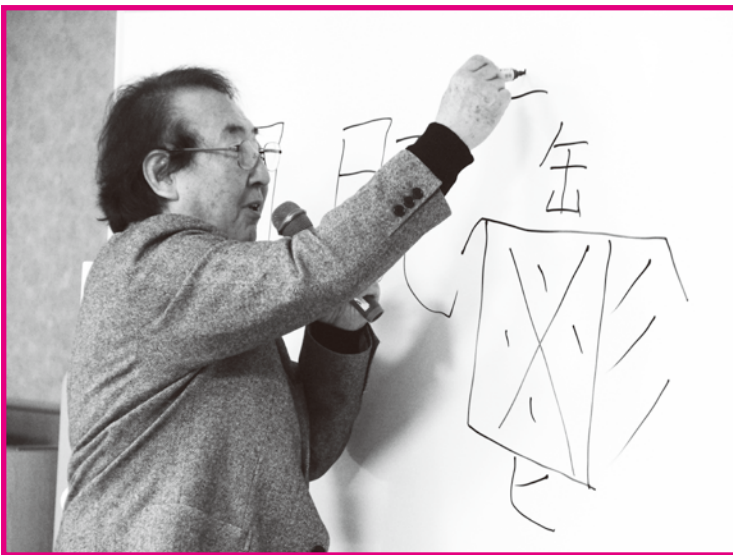
では「食」という漢字を見せましょう（上左端）。これは青銅器の食器に食べ物がのっていて、その上に蓋がされている様子を表しています。ここから様々な漢字が派生しました。

蓋を取った食器の隣に人が座っている字があります。（上左から2番目）。これはどんな字ですか？

「即」という字です。「さあ、食べよう」という、その姿がそのまま漢字になったんです。

その次（上左から3番目）は何でしょう。人が食べ終わって後ろを向いています。これは「既」です。一番右側は、食べ物を中心に二人が座っていますね。これは「郷」です。漢字はこのようにつながっているのです。

■物語で覚える漢字～「鬱」の覚え方



義務教育で覚える一番難しい漢字は憂鬱の「鬱」という字です。書ける人はいますか。実は、この書き方は物語で覚えることができます。

「鬱」は酒を造る話が基となって字になっています。まず、酒を造るときに匂いづけの草を入れ物に入れます。下についているのが糸尻です。やがて、だんだんいい匂いがしてきます。いいものは「さんづくり」で書きますね。例えば一番いい木は「杉」、一番いい色は「彩」です。ここでもいい匂いがします。そして

でどんどん酒が発酵し、蓋をかぶせて出来上がります。このままでは盗まれてしまうので、缶(入れ物)に入れて林の中に隠す。これが、「鬱」なんです。だから、蓋を取ってあげると芳醇な匂いがして、すばらしいものが出てきます。それが出ないで詰まっている状態が、「鬱」だと考えられるわけです。

このように漢字には物語があります。ぜひ今日は「食」でできたものを、まず知っていただければなと思っています。

■カップ麺について考えてみよう

次に、皆さんに考えていただきたいのは「カップ麺」についてです。麺は小麦でできていますね。

●人間はいつ頃から麦を食べ出したのでしょうか。場所はどこでしょう。相談してください。

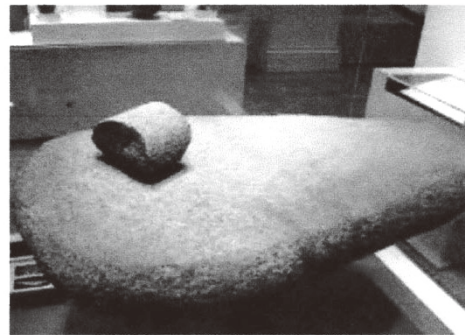
相談タイム

麦はアブ・フレイラ遺跡（シリア）の1万1000年ほど前の住居から発見されました。野生種なので、触るとバラバラと散ってしまいます。栽培してもっと効率的に取りたい、と思いますよね。そこで人類は品種改良をして、触ってもパラパラと落ちない麦を作ります。そこまでに、実に3000年かかっているんです。

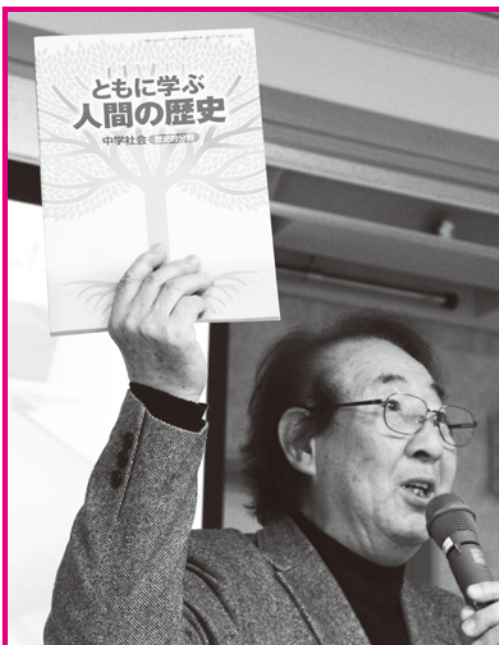
野生のものと栽培のものでは何が違うのでしょうか？



アブ・フレイラ遺跡から出土した石臼



人間の食べている穀物はいつできたか。小麦は1万1000年前に野生種が出てきました。稲は9000年前、中国の揚子江あたりと言われています。トウモロコシはアメリカ大陸で5000年ぐらい前。その頃の野生種のトウモロコシは長さが2.5cmほどで、30粒ほどでした。それが今食べているトウモロコシになるまでには、涙ぐましい人間の努力があったということです。



植物ではありません。豚はイノシシが先祖ですが、イノシシには牙がありますね。豚にはありません。そこで品川にある東京の食肉工場に見学に行ってみました。豚の場合は牙を持って生まれてくるのですが、それを産まれてすぐに抜歯をします。また、イノシシから豚が変わるとき、一番困ったのは、イノシシは体全体の7割が頭で、肉の部分は3割しかない。それを改良して肉を大きくしました。今の豚は3割が頭で7割が肉となっています。

このように、「食」を調べるといろいろなものが見えてきます。これは先生たちが作った中学校の歴史の教科書です。教科書検定も通っています。この教科書のはじめにも麦の話が出てきます。食べ物人類にとって一番貴重ですからね。

●カップ麺には10数個の特許があります。どんな特許があるか、相談してください。

相談タイム



今度は各グループに1つずつ、ホワイトボードに書いてもらいましょう。

いろんな答えが出てきました。

- ・蓋のシールが特許ではないか？
- ・麺を乾燥させる技術は、すでにあったかな？
- ・カップの中で、麺が浮いている構造 など



一番分かりやすいのが、このカップの形です。また、お湯を入れても熱くなく持てますね。そのためのポリエチレンの工夫も特許です。それから、印刷は曲面印刷といって、印刷した平面のものを貼るのではなく、このまま印刷するんです。そういうものも含めて、いろいろ特許が詰まっています。これを真似するところは、特許料を払わないといけない。この企業はこうやって儲けてもいるんですね。

●カップ麺の麺はカップにどのように入っていますか？



カッターで切るとわかりやすいですね。底が空いていて、上げ底になっています。カップがこういう形になっているのは、底より少し上で麺が止まるためです。では、なぜ麺の下が空洞になっているのでしょうか。

カップ麺を開発した安藤百福さんは、たくさん食べてほしいから麺を下まで全部詰めたいんですね。そうしたら、下の方が固まりになって、溶けないままになった。どうしたら溶けるかを考えて、ここを空洞にしたら、全部にお湯がいきわたった。これも一つの特許です。

●麺はなぜ縮れているの？

スープはどうやって入れますか？ このままお湯を入れてかき混ぜると、もう出来上がりです。だから上から入れたスープの粉が全部下に落ちてしまうと困りますね。麺が縮れていると、麺のところに粉がからまっているので、スープがまんべんなく溶けるのです。

では粉末スープはどうやって作られているかご存知ですか？ まず、ラーメンのスープを作り、それをスプリンクラーのような装置で上からまき散らします。そこに熱風が吹いてきて、装置の底に下りてくるまでに乾燥して粉になる、という仕組みです。

このように、知らないことがいっぱい出てくるでしょう。

●麺の生産地は？

では、麺の生産地はわかりますか。中学生だと結構答えがばらけて、外国、カナダやオーストラリアが出てきます。答えは、この企業のホームページに書いてありますので、それを参考にするといいと思います。

●かやくのこのエビを選んだ理由は？

他のかやくはどうでしょう。このエビを選んだ理由は何だと思いませんか？

A：味のよさ B：彩りのよさ C：大きさ

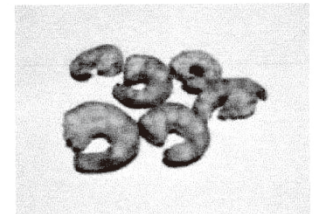
正解はB。彩りがいいから選んだんですね。いろんなエビを試して、これに決めたのはそういう理由からです。

エビのういは何？

A 味のよさ

B 彩りのよさ

C 大きさ



●エビの産地はどこでしょう。話し合ってください。

相談タイム

昔「写ルンです」というインスタントカメラがありました。その授業を作ったときに、いろいろ調べたのですが、当時、現像液は集めてタイに持っていき、レアメタルをそこから取り出していました。そして残りはメコン川に流していました。そのメコン川の下流に何があるかという、エビの養殖池です。そこで、日本向けのエビを養殖している。日本が一番たくさんエビを輸入していたのが、タイなんですね。

でも、このカップ麺に使われているエビは違います。インドからです。プーバラン、カリカディという種類のエビです。茹でるときれいな赤色になるため選ばれました。インド大陸の漁期がありますが、東と西の禁漁の時期が違うので一年中獲れます。そこで、大型船が出て行って、地引き網で獲り、エビ以外の小魚は全部捨てます。

エビの産地はどこだろう？



インド洋産のフーバラン、カリカティ

- 茹でるときれいな赤になる
- インド大陸の東海岸と西海岸で漁期が違うので1年中OK
- 現地で、水洗い→除頭→殻取→背わた取り→茹でる→フリーズドライ
日本へ船で運ぶ
- ◆エビ以外の魚を捨てている
- ◆エビ1kgにつき5kg捨てる
- ◆地域住民の小舟漁を圧迫！

エビは現地で水洗いし、頭、殻、背わたをとって茹でた後フリーズドライして、日本に船でやってきます。

ここまでで、何か問題がありますか？ はい、ゴミは全部現地に置いてくるということですね。網には地元の人たちの食べる小さな小魚がいっぱい入りますが、選り分けられないからどんどん捨てます。そうすると、その魚が少なくなり、現地の人食べるものが獲れなくなってくる、という問題があります。

エビを1kg獲るのに、ほかの小魚などを5kgも捨てているため、現地の人たちを困らせているという状況がありますが、それは一切表に出てきていません。

他のかやくですが、豚はデンマークからもくるんですね。卵はアメリカから。ネギは中国。スープに使われる鶏肉やしょう油の原料となる大豆は中国が一番多い。小麦はアメリカ、オーストラリア、カナダ、日本です。

塩は、みなさん「伯方の塩」って使っていますか？ 伯方の塩って、実はメキシコの塩田から塩を瀬戸内海まで持ってきて、瀬戸内海のしまなみ海道のところに工場があるので、瀬戸内のきれいな水でもう一度溶かして、メキシコ塩とブレンドさせて塩にしているのが伯方の塩なんですね。

香辛料はインドネシア、マレーシア、揚げ油はマレーシアが一番多いです。

●距離を測ろう

では、これらの食材が日本に来るまでの全部の距離を測りましょう。実際に、皆さんにやってもらいます。

<距離の測り方>

- ① 食材の産地の近くの港から東京まで、線を引く
- ② 書いた線の上に刺しゅう糸を重ねて、まっすぐにし、長さを測る
- ③ その長さを縮尺の倍率で計算して実際の距離を出す
- ④ 全部の食材を合わせると何キロになるかを計算する



実際には、地球は球体なので距離はもっと増えると思いますが、このようにすると、生徒も積極的に作業をしてくれます。

作業タイム



はい、ありがとうございます。どんな数字が出たでしょうか。

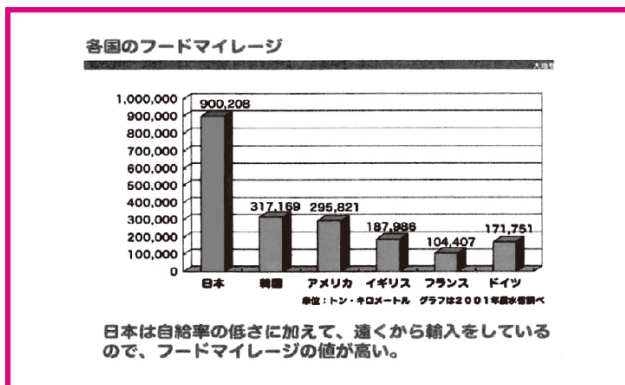
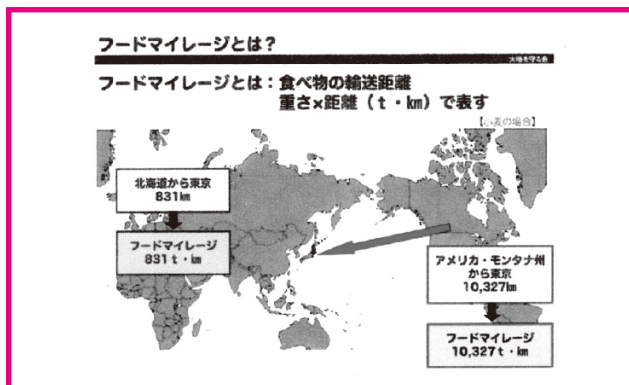
(参加者より) 11万km、8万1000km、15万km、1万9000km、7万km…

地球一周は何kmですか？ 4万kmと言われてますね。人間が一生歩く平均が4万kmといわれています。私が計算すると10万1300kmと出たのですが、少し誤差があるかもしれませんので、10万km前後だと思ってください。つまり、地球二周半してカップ麺が一個できるということなのです。

■フードマイルズ運動について

イギリスの ティム ラングさんという人が提唱した「フードマイルズ運動」というものがあります。食べ物は産地から近いところのものを食べた方が、地球環境を汚さないのではないかと考えてイギリス政府に提唱したのです。<重さ>1トンのものを<距離>1キロ (km) 運ぶという単位 (重量 t × 距離 km) を作って計算しました。例えば、北海道から東京へ運ぶとすると、距離は731km。1トンのものを運ぶとなると、フードマイルズは 731t・kmとなります。

さて世界では、どこが一番フードマイルズの数値が高いと思いますか。日本はベスト10、ベスト3、ベスト1、どこでしょうか？



(資料「大地を守る会」フードマイルズキャンペーン事務局)

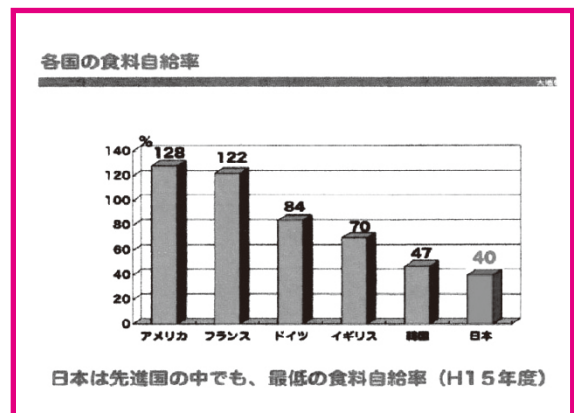
ダントツトップが日本です。なぜこんなに高いのかを考えると見えてくるのが、「食料自給率が低い」ということです。輸入食糧が多い、食料自給率が低い、そしてもう一つ、安いものを追いかけるを得ない状況があります。

1トンのものを1キロ運ぶとすると、鉄道だと21グラムの二酸化炭素が出る。船だと38グラム飛行機だと1,510グラム。トラックだと167グラム。今、日本はトラック輸送が主ですね。

こういう状況をおさえた上で、夫婦と子ども一人の3人家族が100%国産のものを1年間食べた場合、この家族は食品から二酸化炭素を60キログラム排出するとします。国産40%でやると、60%は海外のものを買ったということで、360キログラム排出することになる。その差は300キログラムになります。だから、安いから外国産をどんどん買うという具合だと、こういう状況が生まれることにつながります。異常気象とかいんな問題に私たちが脅かされているという状況が今出てきつつあります。

国産の食べ物を選ぶ、農業を守ることが大事じゃないか、それが環境を守ることにもつながる、ということが言われています。

これが、運ぶ距離からみた「食」の、カップラーメンの授業です。



CO2の排出量を決めるもの

- ① 重さ
- ② 距離
- ③ 輸送手段

1トンのものを1km運ぶときにでるCO2排出量 (g)

鉄道	21
船	38
トラック	167
飛行機	1510

出典：国交省 (2011年) 交通政策審議会 環境部会 中図とりまとめ

(資料「大地を守る会」フードマイレージキャンペーン事務局)

■エデュケーションの訳語「教育」と「発育」について

もう一つお話ししたいのは、エデュケーションについてです。

今日は学校の先生が多く参加されていると思いますが、「エデュケーション」という言葉が海外から入ってきたのは、幕末から明治維新のはじめです。それを何と訳すか、いろんな人がいるんことを考えました。今、皆さん何と訳しますか？「教育」ですよね。ところが、「教育」と訳すことに大反対した人がいます。それが福沢諭吉です。「学問のすすめ」には一つも教育という言葉は出てきません。福沢諭吉は「発育」がいいと言いました。

教育という言葉をもとにしたのは、孟子です。孟子が儒教で「天下の秀才を集めてそこで教育をする、楽しからずや」、ということをしたんですね。同じ型の優秀な人間をたくさん育てるのが「教育」なのです。コピー商品をいっぱいつくるといことですね。



それに対して、ルソーなどが考えたのは、自由が大切だということです。エデュケーションというのは、「その子どもたちが持っている自分のいいものをどんどん育てよう」という意味だと。一人ひとりの個性にあったものを伸ばしてあげるという意味で「発育」がいいという意見の人が出てきて、自由民権運動派はみんな「発育」派につくんです。そんな中、政府が弾圧しながら明治憲法を作って「教育勅語」を作ります。その中で「教育」という言葉が訳語として定着しました。すると再び発育派が燃え出して、大正時代に大きくなり、自由教育が出てきます。それがまた戦争で潰され、戦後に復活するのですが、また潰されようとするということの繰り返しです。

その辺をおさえるというのは必要だろうと私たちは思っています。ぜひ、それを考えてください。

■ネパールの山間の小学校 スリ・ジャナタ小学校について

もう一つ、支援しているネパールの小学校について報告させてください。

ネパールへの直行便は日本から出ていないので、香港やタイから回って行くのですが、首都カトマンズからワゴン車で行きました。子どもたちが朝、私たちを歓迎するために首飾りを作ってくれました。通学途中で花を摘んでくるんです。後ろにいるのが先生です。



ネパールの小学校は5年間です。スリ・ジャナタ小学校は公立の学校ですが、崖の中に校舎があります。一番天気がいいときは、学校から日本人が初登頂したマナスルが見えます。児童数200人ぐらいの学校です。



数年前まではトイレがなく、道路や物陰で用を足していました。家にもありません。女性が特に困っていました。

遊び場はありますが、牛が占領しています。ネパールでは牛は神様の使いですから、牛肉は絶対食べません。

でも水牛は食べると言っていました。ちょっと違うんじゃないかと思いますが、そういう世界です。

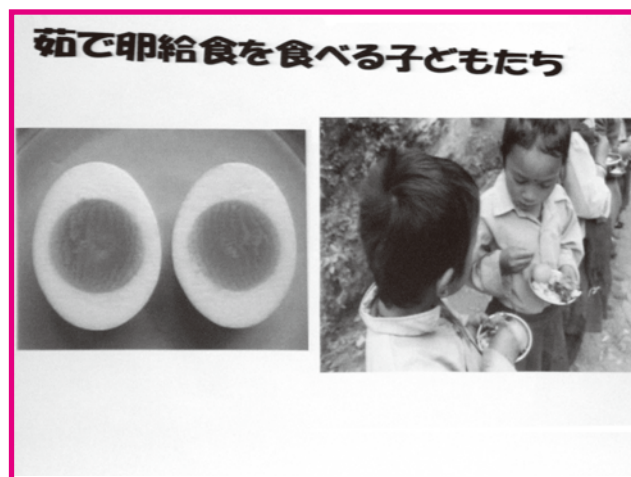


給食もありません。一日二食ですが、学校まで2時間歩いて来る子もあり、お腹がすくので、友人が援助して小麦粉に砂糖をまぜて出したら、それを楽しみに学校に来る子も出てきたそうです。

カトマンズには三つの教育区があり、その教育長さんと話す機会がありました。授業は英語で行われているので、なぜ英語なのか聞きました。すると、民族が30ほど

あって、みんな違う言葉話をしているからだそうです。英語で統一すれば、自分の部族の言葉と英語が話せるようになる、すると国際的な教育ができます。生徒はみんな日本やアメリカは知りません。親が出稼ぎに行くドバイやカタールなどの中東の国を知っていました。そこで英語が生きてくるといふ状況が見えてきました。

子どもたちは日本の戦後の子どものようにみんな鼻水を垂らしています。私もそんな世代ですが、一緒に行った先生が「これはたんぱく質が足りない、たんぱく質を補ってあげよう」ということになり、「たまごプロジェクト」をスタートしました。ゆで卵を月2回給食に出すことにしたのです。そんなときにネパールの大地震が起きました。日本の緊急援助隊も援助に行きましたが、クラウドファンディングで資金を集めたら 500万円ぐらい集まりました。それで、政府の援助が届かないところに、米や砂糖、食用油や蚊帳などをセットにして持って行きました。



現在もたまごプロジェクトは毎週1回続けていますが、200人の子どもたちに1回卵を食べさせるのに、4,000円かかります。集めた資金は地震の援助で底をつきましたが、今も一生懸命やっているのに、資金不足です。よかったらカンパをしてください。

「たまごプロジェクト」について、詳しくは→ <http://www.tamago-project.org/>

また、子どもたちに本を送ろうということで、みなさんが持っている童話を留学生にネパール語に訳して送ったら図書室ができるなど、少しずつ支援も進歩しています。これからも交流を続けていきたいと思っています。

午後の部 教材「写真で学ぼう！『地球の食卓』」を使って
食費が高騰すると、食はどう変化していくか？
～世界の家族の食を見ながらグローバル化の功罪を考える～

■ 4枚の写真から、食費について考える

● 写真の国はどこか、食費をいくら使っているか考える

午後の部ではまず、4枚の写真を見ながら食費を考えてもらいます。これは世界のある国に暮らす家族とその一週間分の食料を集めた写真です。それぞれ食費の安い方から一番高い方まで順番を決めて並べてください。

次に、その国はどこか、食費をいくら使っているか、考えてみてください。

それともう一つ、自分の家はどれに近いかも考えてください。



使用教材：写真で学ぼう！「地球の食卓」学習プラン10（特活）開発教育協会発行

グループで相談

現地通貨で考えるか、日本の通貨で考えるという問題がありますが、実際の計算は現地通貨で買った値段を日本円に換算しています。どちらでも結構です。A、B、C、Dの4つの写真の下にどこの国か、1週間の食費がいくらぐらいかを書いてください。



発表（グループごとに前のホワイトボードに答えを書く）

<挙げられた答えと正解>

A：スーダン、エチオピア、タンザニア、スーダン、マリ、北スーダン、ケニアなど。

紛争国に近い所や紛争国の人、難民と見ていますね。

B・C：台湾、中国、中国農村部など。中国系というのは分かりますね。田舎、農村部と書いた人は、ワークシートの次の問題もよく見ていますね。BとCは同じ国です。そうすると、だいたい分かってきます。





では、日本（左の写真）は4枚の写真のどこに貼ればいいのか、考えてみてください。

この写真が掲載されているのは『地球の食卓』（TOTO出版）という写真集です。一週間の食について書かれており、巻末には掲載されている家族すべてのカロリー数や食費なども紹介されているので、よい教材になります。

4つの国と食費は次の通りです。

Aの家族 は、チャドのアブバカルさん一家（6人家族）

スーダン難民キャンプ在住

【1週間分の食費】143円（配給分は2,876円）

Bの家族 は、中国のツイさん一家（6人家族）

【1週間分の食費】6,758円（自家栽培分は231円）

Cの家族 は、中国のドンさん一家（4人家族）

【1週間分の食費】18,297円

Dの家族 は、アメリカ合衆国のリーバイスさん一家
（4人家族） ノースカロライナ在住

【1週間分の食費】40,355円



●食費が高くなると、どうなっていくかを考える

では、このように食費が高くなると、どうなっていくのでしょうか。それをグループで相談して下さい。特に考えてほしいのは、アメリカの人の食生活です。グローバル化された食材を使っています。では何に困っているのでしょうか。それを相談してください。

グループで相談

では資料を見てみましょう。アメリカのデータがあります。

「アメリカ合衆国のデータ（2005年）」＜資料配布＞

- 人口：293,027,571人
- 平均寿命：男性74.6歳、女性79.8歳
- 1日1人当たりのカロリー摂取量：3,774kcal
- 1日1人当たりの動物性食品によるカロリー摂取量：1,047kcal
- 1人当たりの年間アルコール消費量：9.58L
- 1人当たりの年間医療費とそのGDPに占める割合：576,666円 / 13.9%
- 1人当たりの砂糖及び甘味料の年間可能補給量：79kg
- 1人当たりのソフトドリンク年間消費量：219.2L（うちコーラ社製品108.2L）
- 1人当たりの年間肉消費量：137.5Kg
- 遺伝子組み換え成分を含む加工食品の割合：75%
- 遺伝子組み換え品種として栽培される割合：大豆80%、とうもろこし40%
- 肥満人口：男性72%、女性70%
- 肥満症人口：男性32%、女性38%
- 20歳以上の糖尿病人口：8.8%
- 年間脂肪吸引手術件数：40万件
- 年間胃バイパス手術件数：15万件
- 納税者における肥満関連の医療費支出の割合：50%
- 恒常的ダイエット実践者の割合：男性25%、女性45%
- ダイエット及びダイエット関連商品への年間支出額：400億ドル（4兆7200億円）
- あらゆるダイエット実践者における1～5年のリバウンド率：95%

では、日本のデータを見てみましょう。

- 人口：127,333,002人
- 平均寿命：男性78.4歳、女性85.3歳
- 1日1人当たりのカロリー摂取量：2,761kcal
- 1人当たりの年間アルコール消費量：5.83L
- 1人当たりの年間医療費とそのGDPに占める割合：309,986円 / 8.0%
- 1人当たりの年間肉消費量：48.5Kg
- 1人当たりの年間魚介類消費量：73Kg
- 肥満人口：男性25.3%、女性18.6%
- 肥満症人口：男性1.5%、女性1.5%
- 20歳以上の糖尿病人口：6.7%

1日あたりのカロリー摂取量は 2,761 kcal、肥満人口は、男性 25.3%、女性 18.6%。肥満症という病気には至っていないが、肥満傾向という状況が見えてきます。

肉の消費量はアメリカが 137 kg、それに対して日本は 48kgで全然違います。

1960年にアメリカでトウモロコシが生産過剰になりました。そこで輸出しようと考え、戦略を練りました。そして日本をターゲットにして、まず鶏肉を食べさせようとなりました。鶏肉の食肉工場を無償で作ったり、肉の特売日を設けたりしました。そしてみんなが鶏肉を食べようになると、今度は「豚の方がおいしいよ」。鶏よりも豚の方がたくさん餌を食べるので、トウモロコシの輸入量が増えます。その次は「牛肉はもっとおいしいよ」と。そのようにして、アメリカはトウモロコシの輸出を増やしました。

日本は今、トウモロコシの90%をアメリカから買っています。エジプトやロシア、中国に対しても同じことが行われています。

●アメリカ政府の立場になって、肥満対策を考える

アメリカ政府は、国民がこれほど肥満になり医療費が増えると困ります。そこで、みなさんはアメリカ政府の関係者になって、どうしたらいいか、政策を考えてください。

グループで相談



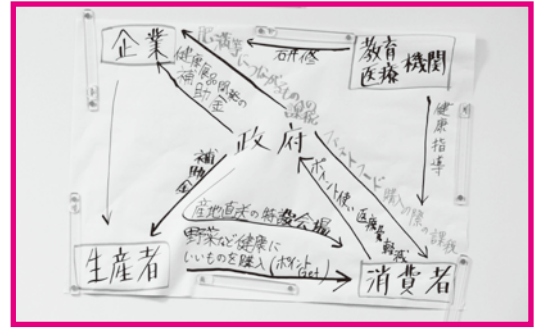
模造紙とマジックを配りますから、政策を書いて、お互い発表しましょう。

教育・学校関係で取り組みたいことは、裏面に書いてください。

グループで相談

<発表1>

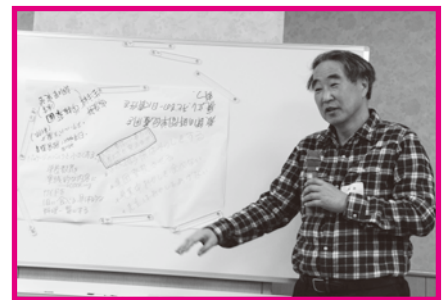
- 健康食品を作った企業や野菜の生産者に補助金を出す。
- 健康にいい食品が消費者に届くよう、場所を設ける。
- 消費者が野菜を購入するとポイントがもらえる。
- 健康にいいものを食べているのに病気になったら医療費割引。
- 肥満や病気につながる食品に課税する。
- 教育面では、健康に関することを指導する。企業にも研修を行う。



この提案で政策したいのは？ 野菜のポイント制

<発表2>

- 教育政策について、メインはアメリカの「大きいことはいいことだ」の考え方を改めること。
- 学校では、子どもに掃除させて体力を使わせる。
- 治安上問題はあるが、集団登校をさせる。スクールバスを廃止する。
- 授業中お菓子を食べない。先生も食べない。
- パッケージをもう少し小さくして売る。
- 日本のような給食教育を行う。家庭科でもっと食について教える。
- 学校の食堂で食べられるものを制限する。
- 教師の時間単位雇用を改める。一日を通じて雇用されている人が少ないと子どもの健康に責任は持てない。



この提案で政策したいのは？ 学校給食の完全実施

<発表3>

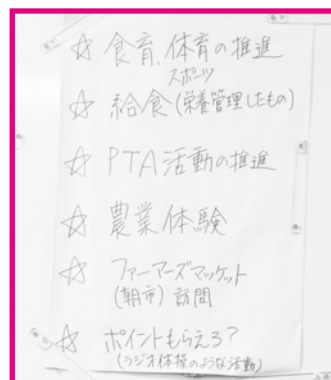
- カロリーの高いものに税金をかける。
- 気軽に運動できる環境を整える。
- BMIが25以下の国民を優遇する制度をつくる。
- 医療施策の中にダイエットプログラムを取り入れる。
- 学校の給食制度。
- 保護者への教育。学校で健康セミナーを行う。
- 健康診断で全員のデータを取って説明する。
- 週三時間以上体育の授業を導入する。生涯スポーツ教育を導入する。



この提案で政策したいのは？ カロリー税

<発表4>

- 日本のような食育、体育の推進。それが生涯スポーツにつながっていけばいいということ。
- 給食制度。単に食べ物を供給するだけではなく、栄養指導、栄養管理したものを供給していく。
- 食育に保護者も巻き込む。PTA活動の中でスポーツや食育に取り組む。
- 日本のように農業体験をさせる。
- ファーマーズマーケット（朝市）などを社会見学する。体によい食べ物を実際に見せることが大切。
- 体にいいことをするとポイントがたまる制度。



この提案で政策したいのは？ **農業体験**

<発表5>

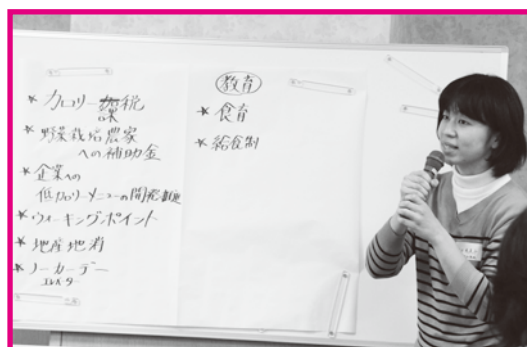
- ジムを増設して通う人を増やす。
- 脂肪を吸収しないサブリを開発する。
- 冷凍の野菜を開発してもらう。
- チアシードなどスーパーフードを売り出す。
- 定期的な健康診断を受けてもらう。
- ダイエット器具を普及させる。メニューも考える。
- 最低限の知識を学校で教えてバランスのよい食事を心がける。BMIの指標も知識として教える。
- 授業に調理実習を取り入れる。給食の実施。食の知識や地産地消で地域のものを摂る。



この提案で政策したいのは？ **ジムの推奨**

<発表6>

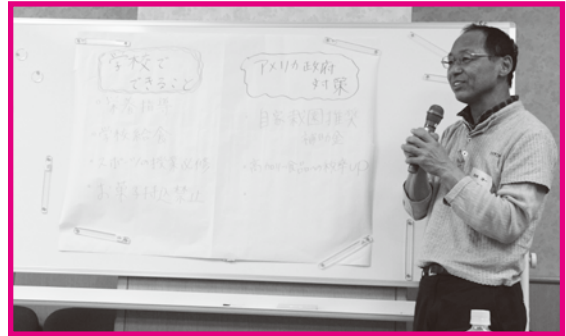
- カロリー課税。
- 野菜を栽培している農家へ補助金を出す。
- 企業の低カロリーメニュー・健康食品開発推進。
- ウォーキングするとポイントがもらえる制度。
- 地産地消の推進。
- ノーカーデー、ノーエレベーターデーの創設。
- 教育では、家庭科で栄養教育をする。
- 栄養管理されたものを出す給食制度。



この提案で政策にしたいのは？ **カロリー税を栽培農家に補助金として出す**

<発表7>

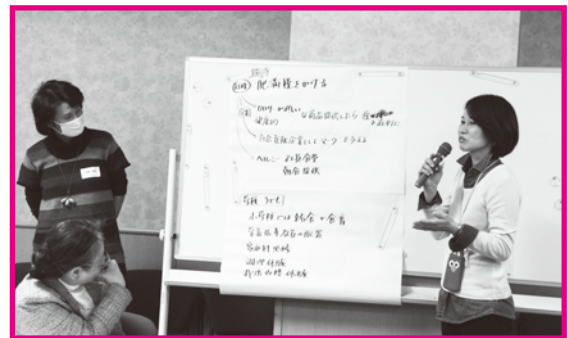
- 家の敷地で野菜を作らせる。そこで取れたものを食べてもらい、その分の費用は国が持つ。
- カロリーの高い食品、体に悪い食品は高くして買いにくくする。
- 学校での栄養指導、給食の実施、朝食も出す。
- スポーツの授業を毎日実施。
- お菓子の持ち込み禁止。



この提案で政策にしたいのは？ **自家菜園の推奨**

<発表8>

- 肥満度の高い人に肥満税をかける。
- 企業に対しては、カロリーが低い商品や健康的な商品を開発して提供すれば、税制の優遇措置を受けられる。
- 健康によい食品を販売する企業が社会貢献企業として承認を得られるようにする。
- 社員食堂でヘルシーな食事を提供する。朝食を提供する。
- 家庭科を必須にして栄養バランスなどを教える。
- 調理体験をして、地場産業を使うメリットなどを体験する。
- 栽培収穫体験を学校でする。



この提案で政策にしたいのは？ **家庭科教育**

●肥満を助長する「太り脳（デブ脳）」とは

アメリカの大学の先生が、40日間ネズミを3チームに分けて、実験しました。

Aはネズミの餌をいつも通り与える。Bは一時間だけ脂肪の多い餌を与える。Cは1日のうち23時間カロリーの高い餌を与える。すると40日後、BとCが肥満になりました。肥満症になったのは



Cのグループで、それをやめさせるために、食べるとショックを与えると、Bまではショックが与えられると食べなくなりましたが、Cは食べ続けました。刺激を感じない脳になっているのです。それを「太り脳（デブ脳）」と呼びました。

アメリカの場合、運動している子どもは6%ぐらいで、学校から家に帰ったら、ほとんどテレビ、テレビゲーム、インターネットで動かず、コーラを飲みスナック菓子を食べています。それを変えるのは、本当に大変だと思います。「太り脳（デブ脳）」の克服も大きな課題なのです。

●4つの家族の食事から、世界で起こっていることと、それに対する対策を考える

では最後尾に、何か一つでいいから、これから自分の家でやりたいことを考えてください。そういうことが次のワンステップになるかなと思います。

グループで相談

●アメリカ政府の5つの重点目標

- (1) お母さんの胎内にいるときから対策を施す。
- (2) 育児の際に、両親や世話をする人がより健康的な選択をする。
- (3) 学校で健康的な食事を提供する。
- (4) 健康的で安価な食物へのアクセスを確保する。
- (5) 運動の機会を増やす。

翻って、日本はこのままでいいですか？ という問題が出てきますね。

■豚を通して日本の「食」を考える

Q. 豚の乳房の数は？ ①8個 ②10個 ③14個
実際は？写真を見て数えてみると、答えは③14個。

Q. 何匹子どもを産みますか？

答：14匹 乳房の数だけ産む。

Q. 一回のお産で何匹産まれる？

答：平均10匹前後。

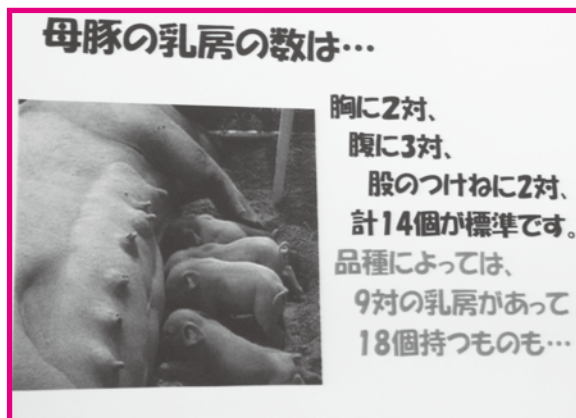
Q. 妊娠期間は人間と同じくらい？

答：114日の妊娠期間。

Q. 皆さんが豚農家なら、何回産ませますか？

①5年間に15回、150匹 ②3年間に6回、60匹 ③1年間に1回、10匹

答：②一般的には、3年間に6回、60匹ぐらい産ませます。そのあと母豚も肉になります。



Q. マイ乳首を持っていますか？

答：産まれて6日後には子豚の順位が決まり、同じ乳頭から吸うようになる。

Q. 乳はいつ出るか？①1時間に1回出てくる ②1日に朝昼晩3回しか出てこない

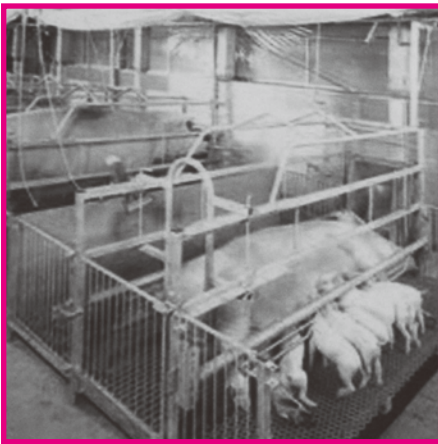
答：①1時間に1回出てくる。10秒から20秒の間で赤ちゃんブタが吸い付く、このタイミングは天からの授かり物です。

そして、二週間で体重が2倍になって、10キログラムになると母乳を卒業します。

1.2キログラムで産まれてきて、それが、人工授乳、子豚期に入って、肉豚になります。

それを人間はだんだん早く進ませるため、配合飼料を食べさせて、結果的にアメリカが儲かるという仕組みです。

Q. 死亡事故の原因は？ ①母豚が子豚をかみ殺す事故 ②子豚同士がかみ合う事故 ③母豚に押しつぶされる事故。



答：③押しつぶされる事故が多い。扇風機とセンサーを使って、子豚が押しつぶされるのを防いでいましたが、最近は、母親を柵で囲って乳首だけが吸えるようになっています。

繁殖豚は子豚を産ませるために飼っている豚。肥育豚は出産しないで食肉になります。オスはみんな肥育豚になります。約160日で110kgに成長し、食肉になります。

なぜもっと大きくしないのか。110kgを越えると餌を食べても肉がつきにくく、肉質もよくなるからです。これを「飼料の利用性が落ちる」といいます。

●豚の先祖は？

世界で最も古い豚の骨は、中国南部の遺跡で発見されました。紀元前8000年ごろの新石器時代のものです。メソポタミアでも飼われていた。18世紀以降、ヨーロッパとアジアの豚が交配され、現代の豚の品種が出来上がりました。

●豚にも牙があるのか。

すぐ去勢されて牙を抜かれる。イノシシは子どもを5匹しか産まず、90kgになるのに400日かかる。豚は10匹産み、160日で110kgです。

雑食性で何でも食べる。群れを作る性格で囲いの中で大人しく飼育される。妊娠期間が短く、多産で、子豚のときから飼いやすい。こういう理由で豚が優等生になりました。

●家庭で一番多く食べている肉は？

2013年のデータでみると牛肉が少なく豚肉は多い。しかし地方差があります。一番豚を飼っているのは、鹿児島県で132万頭。豚肉を一番多く食べる県は、北海道23kg。新潟23.1kg。特に東北、北海道が圧倒的です。

滋賀県は真ん中ぐらい。

牛肉は圧倒的に京都、奈良、大阪、滋賀あたりです。
鶏肉は圧倒的に九州なんですね。

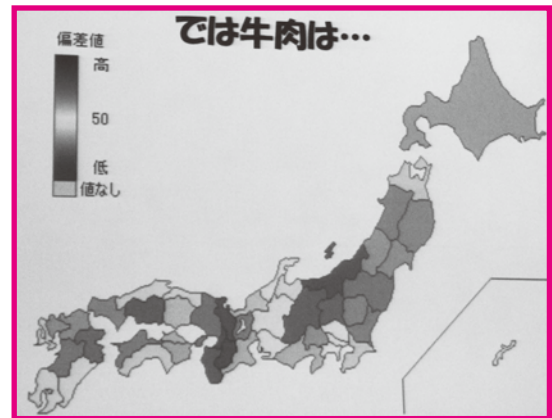
●豚肉は国産だけで賄えるか？半分は輸入しているのではないか？

ほぼ半分。アメリカ、デンマーク、カナダ、その他。

●なぜ日本人は肉を多く食べるようになったのか？

アメリカの戦略が日本人を変えた。1960年当時、飼料穀物協会を作って輸出拡大を図りました。そのターゲットが日本で、戦略どおりに肉を食べるようになってきました。

調べると、飼料価格は1トンあたり3万円から6万円に倍増しています。神奈川では40年前は伊勢原市に160の養豚農家がありましたが、2014年には4戸になっています。

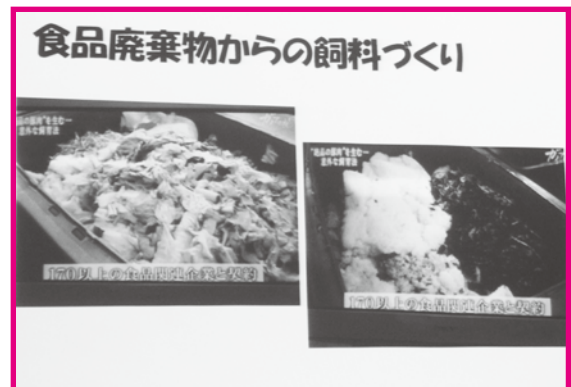


●飼料高騰に対抗してリキッド発酵飼料を作った。豚はドロドロの餌を食べるか？

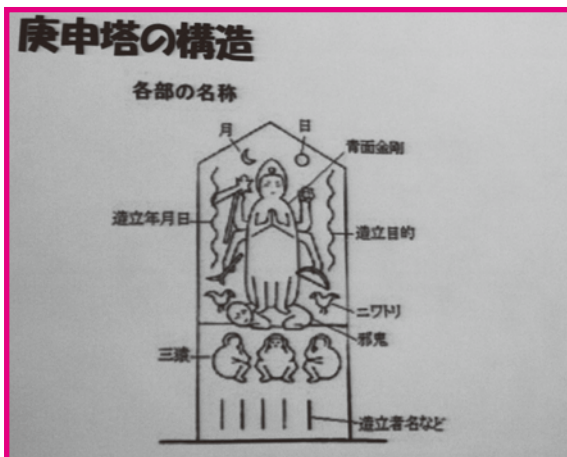
豚を見てください。食べています。配合飼料の半分の値段で出来るので、これは一つの知恵です。ただ、これで作った豚肉は輸入豚肉が100g 90円に対して、100g 300円かかります。

しかし、客の評判は上々で売れ始めています。アメリカからの輸入飼料からの脱皮がささやかに始まったというふうに説明しています。

授業では、ここで学生達に、豚を豚肉にする過程のビデオを見せます。泣いて見ない女の子もいますが、お母さんになるには見ておいた方がいいと思います。



こうしん ●庚申信仰について



歴史的に見ると、平安時代に中国から庚申信仰が入ってきて貴族に広まり、江戸時代になると庶民の信仰になっていきました。60日に1回来る庚申の日にみんなが眠ると体の中の三尸の虫が天帝のところに飛んで行って、60日間でこの人がやっていたいいこと、悪いことを全部報告する。天帝はその話をもとに寿命を延ばしたり縮めたりするのです。江戸時代の人たちがしていた「悪いこと」は何だと思いますか。小学生の授業では「肉を食べた」などの答えがすぐに出てきました。

江戸時代の庶民は、庚申の日は眠らないように集まりました。それを三・五・七年間など期限を決めて、続け終わったら庚申塔を建てたのです。庚申塔には三申がいます。「見ざる、言わざる、聞かざる」。天帝に告げ口しないでほしいという気持ちだったんですね。私たちは、豚をおいしくいただきますよ。

私の話は終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

<質疑応答>

質問

グローバル化には功罪がある、罪の部分では富を独占しているという例がでましたが、良い部分があればお聞きしたい。

答え

- ・たとえば、コカコーラという会社が世界各国に進出している状況が企業のグローバル化です。
- ・良い部分は、世界中が同じ経営に近づいていくということ。それが世界の国々すべてに行き渡れば、どの国の従業員も同じ給料をもらうようになるということです。
- ・自分の国の労働者の賃金をもっと安くするために使われるのは、グローバル化の悪い使われ方。一番良いのは、人間が人間らしく家族も含めて暮らせるだけの給料をちゃんと渡すこと。それをグローバル化に求めていかななくてはいけない。
- ・それを判断する力を子どもたちが身に付けなくてはいけない。道徳教育より家庭科教育はとても大事。
- ・そうした子どもたちを育むためには、みんなで討論していい知恵を出す、というのが大切。
- ・日本の教育、学校の知識だけでは未知なる問題に役に立たない、とわかってきました。
- ・知識を総動員し、意見を交換しながら新しいものを作り出そう、というのが今の教育です。
- ・そのためには、今日やったような「アクティブ・ラーニング」が効果的。



- ・例えば、地球上で一日に一番たくさん食べている人の食事は何kcalか、宇宙食のカロリーはどうなっているか、といったふうに「食」にもいろんな切り口がある。
- ・ぜひ、いろんなことが考えられる切り口を、見つけてみてください。

参考書籍：「地球のごはん」（TOTO出版）

2016年度「国際教育教材体験フェア in 滋賀Part 7」

日時：2016年6月19日（土）13:00～16:45

会場：ピアザ淡海

参加者数：62名

主催：滋賀県国際協会

共催：JICA関西、国際教育研究会 Glocal net Shiga

分科会1：「グローバル化する世界の現状を学ぶ『貿易ゲーム』」

■講師：国際教育研究会 Glocal net Shiga 森 雄二郎さん
堀川高校ユネスコクラブWITHのみなさん

■参加者：26人

1) 講師紹介・進め方説明（5分）

ゲーム進行は堀川高校ユネスコクラブWITHのみなさん。今回は、短縮版を体験する。ゲームをする側の気持ち、進行の立場になった際の注意点等を振り返る時間もとる予定。

2) 参加者自己紹介（5分）

同じグループ（4～5人）の中で自己紹介をし合う。

貿易ゲーム経験者は5名程度。堀川高校ユネスコクラブWITHが考案したオリジナルの要素が盛り込まれているため、新鮮な気持ちで臨んでほしい。

3) 貿易ゲーム（45分）

各グループにルールと材料（紙、はさみ、定規など）が入っている封筒を配布。（ただし、封筒の中身は、グループによって異なる。）

封筒の中を確認する指示のみを出してゲーム開始。

動きがないグループには適宜講師がアドバイスを出す。

【参加者の様子】

- 最初は戸惑いが見られたが、グループ内で話し合いを深めるうちに、徐々にゲームにのめり込んでいく。
- 数人が他のグループと交渉をする様子を見て、多くのグループがより効率的な生産をするために交渉に乗り出す。
- 積極的に動き回る人、人の意見に素直に従う人、無心に生産を続ける人など、時間が経つにつれて各グループ内で役割が定着しはじめる。
- 最初はいかに沢山生産するか注力していたが、価格変動や各グループの特性にも目を向け始める。



4) 振り返り&教材として活用するにあたって (25分)

●各グループで話し合い

ゲームの感想 (疑問に思ったこと、上手くいったこと・いかなかったこと)

➤ゲーム中にどんなことが起きたか (気付いたこと、周りの国・マーケットとの関係、お金の稼ぎ方)

- ・すべての国が資源・利益を共有できる仕組みを作るのが理想だが、実際は自国の利益を優先してしまう。
- ・マーケットの詳細情報 (価格変動の理由など) が生産者には伝わってこない。
⇒実際の貿易でも同じ?
- ・小中学校で応用すると、子どもの実際の関係に影響があるかもしれないため、フォローが必要。
- ・疑問: ルールを丁寧に説明せずにゲームを開始した意図は? 自由に動き回る人を投入する意味は?
- ・正直にするゲームではない ⇒世の中を賢く渡り歩くゲームか?
- ・提案: 情勢をひっくり返す要素を入れてみては? 例) 世界恐慌 など

●全員での振り返り

➤貿易ゲームを通して伝えたいこと

- ・それぞれの道具が意味するものとは? →道具類 (技術)、紙 (資源) を表している。
- ・現実の社会でも各国によって経済力や技術力、エネルギー消費などに違いがある。
- ・豊富なお金や道具 (技術力) を持っている国=先進国、お金や道具 (技術) が少ない国、紙 (資源) だけ多い国=発展途上国
- ・途上国は、マーケットで買い取り価格を下げられたり買い取ってもらえなかったりした。
=国際規格、品質保証
- ・国によって対応が違う=ブランド力 価格が変動した=需要と共有
- ・同じ製品しか作れない国は価格が安くなっても作り続けるしかない=モノカルチャー経済
- ・自由に動き回る人: ゲームのルールとは別に、資源や道具を提供したり、商売を行う企業。
国家間とは違うところでも取引をする。
自由貿易と中間搾取=多国籍企業 *貿易の間に立ち、自分が得をする。
- ・道具の貸出=国際援助
- ・他国の作業を請け負う=出稼ぎ労働者

5) 教材として活用するにあたって (10分)

振り返りでひとつのところに落とし込むのは難しい。

- ・「お金を稼ぐことが目的」と強調しすぎないように気をつけること。
- ・マーケット担当: 情に流されないように気をつける。流通状況や各国の情勢をきちんと見ておく。
- ・状況、参加者のレベルに応じて新しい要素の導入を検討する。

➤進行上の注意点

- ・現実とゲームの間で起こるギャップ: 自分が言いたいことがすべて表現できるわけではない。
ゲームで起こった現象や気づきを最大限尊重する。
- ・要素が多すぎると狙いがぼやける: 盛り込みすぎると收拾がつかなくなる。
- ・あくまで導入であり、結論ではない: ゲームそのものよりも発展学習が勝負!
- ・参加者の感性を次の問いかけに結び付けること。

分科会 2：「難民すごろく…シリア版」～難民問題からひろげる学び～

■講師：大津市立仰木中学校教諭 中原 敦子さん

■参加者：23人

1) 自己紹介 (5分)

講師による自己紹介と、これから行うワークショップの趣旨について説明があった。アラビア語の挨拶を紹介した後、世界地図を見せながら、シリアの場所を確認した。

2) グループ分け (10分)

シリアの写真がバラバラに切り分けられたピースを使って、グループ分けを行った。グループにつき1枚の写真が完成するよう同じ写真の断片を持つ人を探し出すアクティビティ。

写真は、シリアのパルミラ遺跡、ボスラのローマ劇場、ダマスカスのウヤマイド・モスクなどの世界遺産の風景写真をそれぞれ使用。

グループごとに着席した後、シリアに対するイメージについて意見交換を行った。

【出てきたキーワード】

特産物（ナツメヤシの実、アレppo石鱈）、戦争、途上国、難民、空爆、砂漠、古代遺跡、イスラム国、IS、ムスリム、シルクロード、お城、ヨーロッパとの交易、パルミラ遺跡、モスク等

講師より、「参加者のシリアに対する印象は、最近のニュースで見たり聞いたりしたイメージだと感じた。特に、難民、戦争のイメージが強いと感じた」とのコメントがあった。講師自身が知るシリアの様子について、国の大きさなどの基本情報はじめ、特に宗教については、人口の90%をイスラム教徒が占めるが、その他にもたくさんの民族が住んでおり、多民族、多様な宗教が共存する国家であると紹介があった。

2) 協力隊活動の紹介 (20分)

講師自身が青年海外協力隊でシリアに派遣された経験がある。現地では体育教師として障害児・者へのスポーツ指導の活動に従事した。きれいに整備されているスタジアムを見ると、途上国のイメージとは少し異なると思う。オリンピックに出場するぐらいレベルの高い選手もおり、様々なチームがスタジアムでトレーニングを行っている。実は、イスラム教の喜捨の精神からボランティア活動が盛んな国である。

車いすバスケットなど、ダマスカス市内の体育館の様子。肢体不自由者の背景として、戦争で負傷もあるが、工場での怪我や先天的なものなど、様々である。

写真を見せながら、ダマスカスの町の様子も解説された。（現地の街、市場の様子。大きな駅もある。聖書に登場するカシオン山、ダマスカスの夜景、繁華街の看板など賑やかな様子、シリアの雪、市外の高層住宅、バス乗り場、旧市街（オールドダマスカスー何千年も続く街）、現地の住居、中庭、食べ物（ケバブ、米、漬物、羊、アイス）、家庭の様子、公園に集まる親子（井戸端会議）、学校、床に座り手で食べる様子など）

シリア人の対日感情は、国民性から、また交流の拠点ということもあり寛容である。

4) 写真を見て、イメージが変化したか？（意見交換）（15分）

- 自分が思っていた貧しいというシリアのイメージなどと現実とは異なり、生活も日本とあまりかわらず、日本と変わりなくスポーツをやっていた。生活はできていた。
- 日本とよく似ているご飯、マレーシアの食事とも似ていた。ムスリムの服、食事の風景など。
- 食生活、公園の風景が日本と変わらず、マーケットにも活気があった。高層マンションなど、風景は都会にも緑があり砂漠とは違う、異なる宗教が共存しているということを知った。
- 世界遺産が多く、観光に向いている。人々が明るく親しみやすい国だと思った。
- 豊かな自然、雪が降ることに驚いた。主な産業は何か？ → 答え：農業、畜産、高い自給率

講師より、「写真を見たことでシリアに対するイメージが、ネガティブなものから豊かな国というように変わったのではないのでしょうか。しかし、2011年の内戦が始まってから、シリアが大きく変わってしまいました」と言って、別の写真を紹介された。

さきほど紹介した街の風景が一変してしまった。

アレッポのモスクも爆撃などで破壊され、市場も街も壊滅状態で、「それでも僕はシリアに帰る」という映画でも紹介されている。）その他、ダマスカスの街のヤルムーク（シリアに住んでいるパレスチナ難民の街）、配給の列に並んでいる人々の様子の写真が紹介された。

ザタリ難民キャンプの様子を見せながら、「自分の街が戦争になったら… 私たちと同じような生活をしてきた人々が、戦争が起こったことで、難民となる人が急増している状況にある」と説明があり、「もし難民になったら、どのようなことになるのか」を疑似体験することになった。

5) 難民すごろく（25分）

- ・2, 3人で一家族となり、それぞれの家族構成をイメージしながら、名前と年齢、持ち出す物を考えてシートに記入する。
- ・すぐに逃げなくてはならない状況なので、持ち物を悩んでいる時間がない。
- ・いろいろな状況で今すぐ逃げなくてはいけない場合もあれば、日に日にひどくなっていく場合もある、持ち物は悩む。
- ・制限時間内に持ち出す物を書けていないところは、何も持たないまま出発。
- ・すごろくの指示カードについては、他の家族チームとも共有して、すごろくゲーム開始。
- ・すごろくを通じて、参加者は難民が実際に避難する道中に遭遇する様々な困難を疑似体験する。



6) ふりかえりと解説（15分）

各家族が、難民すごろくをどのように進んだか、旅路、感想などについて全体共有した。

- ・一番早くドイツへ到着した。最初は爆撃に遭うなど、シリアに戻ることもあったが、レバノンに入り、ドイツにパスポートがあれば、800ドルを払って行くことができた。
- ・姉妹で旅を続けていたが、ものを盗まれたり、姉が死亡したりした。妹は家族からの送金を受けることができ、ヨットに乗ってドイツまでたどり着いた。
- ・姉妹で移動していたが、飲料水がなく、水が原因で病気になり、失望して死亡した。

すごろくをやっていて楽しかった人、やっていていい加減にしてくれ、と思った人は？（参加者に挙手するよう促した）。この難民すごろくのカードに書かれている内容は、現実をできるだけ反映したようなものになっている。

シリア人がレバノンになかなか入国できないなど、思い通りに前に進めないジレンマを感じることも、このすごろくのねらい。ゴムボートではドイツに入れず、うまくいけばいいが、シリアのパスポートを持っていてもなかなか難しい。仕方なくトルコ経由でギリシャからドイツを目指すしかない。ゴムボートの実際の値段は、14万から30万かかるので購入できるのは、難民の中でもある程度お金がある人に限られる。お金がない人は身動きができないという実態があり、国内の貧富の差が難民にも影響を及ぼしている現実がある。

難民の定義の紹介（難民条約）

様々な選択肢がある。

難民になるシリア人、シリア人の半分以上が難民だが、わずかな人しか安全な国にたどり着かない（すごろくで経験したとおり）。

受け入れている国は、ドイツなどヨーロッパへの難民問題がニュースなどで取り上げられているが、ごく一部（11万人程度）であり、大部分（400万人程度）が隣国のトルコ、レバノン、ヨルダンに、あるいはシリア国内で避難している。

日本の受け入れ状況の紹介

- 7,000人が申請して27人、昨年、難民認定されたのは8名のみである。

配布資料で日本にいるシリア難民の紹介

- 日本の立場の紹介
- 自分の街に難民を受け入れるとしたら、あなたは、反対？賛成？
⇒家族ごとに分かれて、意見交換。なぜ、そう思うかについて話し合った。

現実的に難民を受け入れたら・援助したらどうか？

- ・賛成の立場の意見…社会に新しい視点をもたらされる、日本が困ったら助けてもらえる、労働力の確保ができる、関係が良くなる など
- ・反対の立場の意見…治安悪化を懸念、財政面の課題（日本の生活保護支給など）、言語面の課題、日本の文化習慣を受け入れられるか、日本も共倒れするのでは、テロリストが紛れていたら…

参加者からは、トルコと日本の関係、台湾の援助などを例に挙げ、日本が今、この状況を助けることが未来につながるのではという意見も出た。

講師からは、「今出た意見は、おそらく日本の多くの方の意見が集約されていると思う。いろいろなイメージをみて判断してもらいたいが、実際のところは、シリア人自体を知らないことが障害となっているのではないだろうか。相手を知ることがまず大事と考える。難民の受入れに対して賛成か反対かの意見を出すのは簡単なことではないが、ニュースなどをみて、まわりの人たちとの意見交換などをおして、見方を変えてもらいたい。今回紹介したシリアだけでなく、ミャンマーなどにも難民の問題はある。そうした世界の状況について何も知らずにただ壁を作るのではなく、そうした状況に置かれている人を知って受け入れることが大切。シリアに行かなくとも、知ること、伝えること、考えることはできる。現在の日本は海外とのつながりや関係がなくては生活が成り立たないので、身近なものが、なぜそこにあるかを考えて教材を作る、活用するといった視点を現場の先生方には取り入れていただければと願っている」と締めくくられた。

分科会 3：世界一大きな授業 2016

～全ての子どもに教育を。1本のペンが世界を変える。～

- 講師：国際教育研究会 Glocal net Shiga 渡辺 智美さん
- 参加者：29人

「世界一大きな授業 2016」のホームページから申し込むと、以下で紹介するワークシートを含む教材等がすべてダウンロードできます。 → <http://www.jnne.org/gce/>

1) アイスブレイキング (5分)

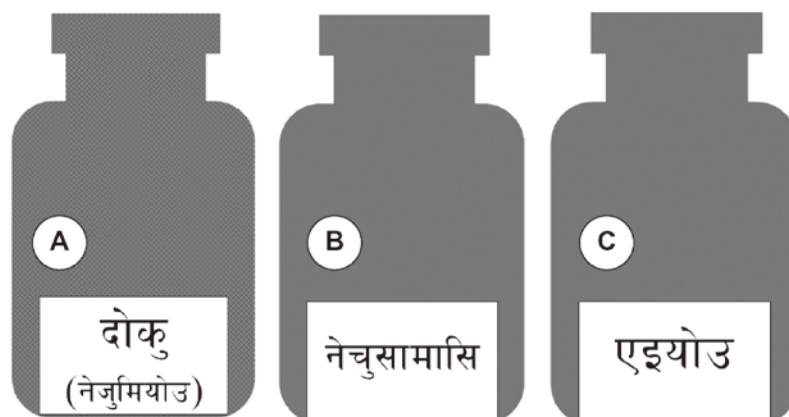
二人一組で、じゃんけん+自己紹介(名前、今はまっていることを伝え合う)

2) やってみよう! 「世界一大きな授業」クイズ (10分)

ワークシートを使って、「世界ではどのくらいの子どもが小学校に通っていないか?」「小学校に通えない理由は?」「世界では、読み書きができない『大人』がどのくらいいるでしょう?」といったクイズを行った。

3) 文字の読み書きができないとはどういうことか? (15分)

➤病気の母親のために薬を持って帰りたい子どもが、何か書かれた3つの瓶から薬をどう選ぶか?



- ・グループで話し合う。
- ・講師から、3つの表記が何を表わすか解答。 → A「毒(ネズミ用)」 B「熱冷まし」 C「栄養」
- ・ラベルを選んでいるときの気持ちは？
⇒怖くて選べなかった。
- ・母親を助けたいが、間違っていたらどうしよう。
- ・どれか持って帰りたいが、分からないからもどかしい。
- ・答えを聞いたときの気持ちは？ ⇒選んだ瓶が薬で当たったため、ほっとした。
- ・識字率：世界の大人6人に1人は文字が読めない。初等教育の充実にも関係。
- ・文字が読めない＝一生にわたって不利なことが多い。命に関わる問題にもなる。

4) 教育資金について考える (20分)

クイズ①

世界中の子どもが高校まで通うためには、1年であといくら必要か？

*参考：日本の国家予算（1年間）：96.3兆円

選択肢 A. 約49兆円 B. 約19兆円 C. 約9兆円 正解：B 約19兆円

クイズ②

19兆円のうち、日本を含む先進国がどのくらい援助をする必要があるか？

選択肢 A. 約10兆円 B. 約8兆円 C. 約4兆円 正解：C 約4兆円

*発展途上国の国家予算をもっと教育予算に回せる。

リボンを使って資金の大小を比較し、実感する。

- ①世界の子どもが高校まで行くのに必要な援助額：4兆円 → 40cm (センチ)
- ②世界のゲームソフト市場：6兆7148億円 → 67cm (センチ)
- ③世界の軍事費：217兆円 → 22m (メートル)!
- ④現状の援助額：6200億円 → 6.2cm (センチ)

➤この状態を視覚的にみて、どう感じたか？

- ・軍事費をもう少し削って、教育資金に充てるべき。
- ・国連：「先進国・途上国もより努力が必要」
- ・どの分野に予算をかけるべきか明確になった。
- ・教育予算増加：教師が増える。教育施設・物資が行きわたるようになる。
- ・教育 → 就労につながる → 経済発展 ⇒様々な問題解決につながる。



5) マララさんと教育の大切さを考える (30分)

- マララさんのノーベル平和賞授賞式でのスピーチを聞く。
- 映画「私はマララ」予告編動画の観賞。

➤今の気持ちを考える

- ・ワークシート「私の気持ちは…」を各自で記入し、グループで話し合う。

6) 教材について (10分)

- ・この教育キャンペーンについてのちらしを配布。
- ・このプログラムの中の発展学習では、外務大臣、市町村の議員に手紙を書くと届けてくれる。
- ・申し込みするとすべての教材がダウンロードできるので、とても活用しやすい。

分科会 4：異文化理解から多文化共生へ ～共に生きる社会をめざして～ (JICA教師海外研修実践報告)

- 講師：宇治市立西小倉中学校教諭 藤原 なつみ さん
- 参加者：25人

1) 講師による自己紹介 (5分)

教師海外研修に参加したきっかけは、ある教員研修で、日本に住む外国人と接する機会があり、苦労話などを聞いたこと。ちょうどその頃、自分の生徒が外国人差別に何も疑問を抱いていなかったり、彼らからヘイトスピーチに似たことを耳にしたこともあり、開発教育に関心を持ち、特に多文化共生をテーマに取り組み始めた。そこで上司に紹介されたのが、この教師海外研修だった。

2) ブラジルについて説明 (10分)

研修に出発する前に、生徒から聞いたブラジルに対するイメージ：美人、サッカー（ネイマール）、サンバ、コーヒーなど、さまざまだった。

研修での旅程を振り返りながら、日本とブラジルの距離（地図で説明）、飛行時間は23時間、正式な国名はブラジル連邦共和国、などを紹介。

3) ブラジルかるた (20分)

講師自身がブラジルで撮影してきた写真をもとに、自作したカルタを紹介。参加者はカルタを通じて、ブラジルについて理解を深めた。

【絵札（写真）で紹介されたもの】

- カシューナッツ（豊富なフルーツ）
- なまずの土鍋料理（アマゾン川の料理）
- 砂浜でサッカー（ビーチバレーよりサッカー）
- 渋滞と物売り（何を売っている？答：ワイパー、果物など）
- シュハスコ（肉料理）
- ビルの落書き（よく見ると教育の改善を訴えている）
- サッカー博物館やスタジアム（いかに国民的なスポーツかよくわかる）
- サンパウロのイブラプエラ公園（筋トレするおじいちゃん、日本館、など意外なことも）
- 海のようなアマゾン川（熱帯雨林の話）、クルージング（バンドとダンスなどブラジルらしさ）
- JICAのボランティアが活動する越知学園の紹介（教室や子ども、文化交流の様子など）



その他に、黄色いイペの花（国花）、街角にある分別ボックス、珍しいフルーツ、ビュフェ・スタイルのお昼ご飯（量り売り）、多様な食文化、コーヒー博物館、面白い形の公衆電話、カカオの実やアサイーの食べ方など紹介された。

4) フォトランゲージ・ものランゲージ (20分)

参加者は講師がグループごとに配った写真を見て、気づいたこと、何が書いてあるかを書き出す。その前のカルタの写真とは異なり、全体的にブラジルへの日系移民に関わるもの。ブラジルにあるお寺や移民記念碑、笠戸丸、移住奨励ポスター、東洋人街の鳥居などの写真。参加者は宗派であったり、背景の港、食品のローマ字表記、など様々な写真から各自が読み取ったこと意見交換。その後、それぞれについて講師が解説。

- 移民奨励ポスター：歴史的な背景として、日露戦争後、日本経済は混迷し、各地で農民一揆が発生していた。そうした中、特に経済的な困難な地方から労働力の不足しているブラジルへの移民が、国の政策として奨励された。
- 笠戸丸と移民記念碑：写真の笠戸丸は呉の造船所で作られた時のもの。移住する人は全国から神戸の移住センターへ集められ、そこから2ヶ月の航海で、ブラジルのサントスへ上陸した。（サントス記念碑と神戸には同じ移住家族の像がある。）
- 胡椒畑とスーパーの日本食：移住した人が従事したのは主にプランテーションでの農業。緑の地獄とも呼ばれるアマゾンの原始林を開拓し、畑でコーヒーや胡椒、そして野菜を栽培した。（ブラジルに野菜を食べる習慣を定着させたのは日本人など）。最近の農園では、カカオやアサイーなども栽培され日本に輸入されている。
- サンパウロの東洋人街とお寺：鳥居はサンパウロの東洋人街のシンボル。よく見ると街灯が提灯などになっている。日本食などの他に、お寺は南米本願寺の様子で、正座が苦手な人のためにイスが並べてある。そのほかにも、子ども達の盆踊りや老人ホームが紹介された。

講師より、この授業を行った後、「ブラジルのイメージ、距離は遠いけど、日本の文化があることを知り身近に感じた。日本の文化をブラジルでも大切にしている嬉しい」という感想が生徒から出てきたと紹介があった。

5) ホームステイの体験談など (10分)

講師より、研修の中で農家にホームステイした体験について話があった。農家に取り組んでいるアグロフォレストリー（アサイーや胡椒、カカオなど「農業」と森林保護の「林業」を組み合わせたもの）の説明があった。その上で、日系のホストファミリーの紹介。一家でブラジルに移住、日系ブラジル人2世、3世、4世となり、今はその孫の世代がブラジルから日本に来ている。（日本国内の外国人集住都市の紹介）

学校では、群馬県大泉町の紹介ビデオの視聴をした上で、「クラスメイトは外国人」（発行：明石書店）を読んで、在住外国人の気持ちを考えてみたとのこと。この授業で生徒は、「文化の違いで苦しむことを理解できた」と紹介された。

6) ロールプレイ (15分)

配られた役割カードを読み上げ、気づいたこと、感じたことを各自でワークシートに記入し、グループで意見交換を行った。

カードの例)

<p>公立の小学校に通っている。8歳の時に日本に来た。日本のお寿司やラーメンはとても大好きだけど、ごはんの時はお茶の代わりにコーラやガラナジュースを飲む。水筒にコーラを入れて持っていったら、先生に「水筒にはお茶です」と怒られてびっくりした。ブラジルでは「日本人」と言われていたし、日本では「ブラジル人」と言われる。すぐに友達はできたけど、たどたどしい日本語でよく馬鹿にされた。朝学校に来ると「国に帰れ！」と机に落書きされていたこともある。僕はナニジンなんだろうっていつも考えているけど、お母さんに聞いても先生に聞いてもよくわからない。</p>	<p>日本に来て5年。派遣会社が用意したアパートに住み、派遣会社が用意したバスに乗って工場へ向かう生活。行政の手続きや、病院へ行くときも派遣会社の通訳と一緒に来てくれるので日常生活で困ることはなかった。けれど、日本が不景気になり先月クビになった。アパートからも追い出された。ハローワークで求人相談に行った時に、日本人求職者から「お前らのせいで仕事を奪われた！」と吐き捨てられた。真っ先にクビになるのは、僕たち外国人労働者なのに。</p>
---	--

【グループ発表】

- ・読んでみて気になったことを話した。水筒にコーラの話はだめだとしても、ブラジルでいいなら、いいのだろう、ピアスぐらいいいだろう。
- ・日本にも外国人が住んでいること、いろんな文化の人がいることを実感した。

講師より、このロールプレイを作成するに当たっては、滋賀県国際協会で聞いた話をベースにまとめた。言葉で困ることもあれば、学校や仕事など生活する上での困難、文化の違いからくる問題などの事例を紹介してもらったとのこと。

7) ダイヤモンドランキング ～日本にいる外国人について考える～ (10分)

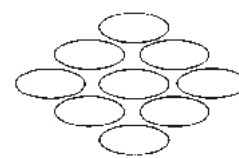
外国人と共に生きる（多文化共生）社会をつくるために考えられる/できることについて優先順位をつける。

- ・自由に埋められるカードの項目（J・K）に、その国の言葉を覚える、日本語を教えるなど考えた生徒がいた。
- ・生徒によって考えが違う、何か分かり合えるためにできたら、相手の文化を知ることができればということが話のポイント。何も考えを持たない/持っていないではなく、それぞれの考え方がちがっていい、そうした違いを認めることが大事。

『共に生きる（多文化共生）』社会をつくるために

日本で暮らす「外国人」の数は現在、約220万人。日本の人口の60人に1人が「外国人」です。日本経済維持を考えると、はるかに多くの外国人労働者が日本社会に暮らしています。日本に移り住んだ人の中には、日本にルーツを持っている人、ルーツを持っていない人もさまざまです。先住いた移民の多くは世代を重ねる中で、日本での生活や文化は、文化に適合する一方、自分の文化や価値観も残して、います。これから、私たちがいえるような多文化共生社会を持つために『共に生きる』社会をつくるためにはどのようなことが大切だと思いますか。大切だと思われるものにA～Iの番号を書きこみ、J・Kの（ ）には、A～I以外で自分好みに大切なことを書き加えて、ランキングに入れてください。読んで記入した後で、グループで意見を交換して、独自のランキングを作ろう。

A 母国語で対応できる「翻訳窓口」をつくる。
 B ことばや生活習慣の違いで困っている人を助けるボランティア活動をする。
 C テレビ、ラジオ、インターネットなどを利用し、いろいろな国のことばで情報を得る。
 D 日本の学校で、外国から来た人たちのことを理解するための授業を行う。
 E 国が私立学校に出している補助金をブラジル人学校にも出す。
 F 身近なところにいる国籍や文化のちがう人と交流がある。
 G 外国人に対して無断で撮影したり見聞禁止する法律をつくる。
 H 長く日本に生きている外国人に敬愛を込める。
 I 自分の文化に誇りを持ち、自分らしく、のびのびと生きる。
 J ()
 K ()



2年 ()組 ()番 ()

8) 奥村さんの話（日系人）

滋賀県で地域の外国人住民の支援に携わっている奥村ルシアさんに学校へ来てもらい、ご本人がブラジルから来てどう苦労したか、普段接している日本語がわからない方たちはどんなことに困っているかなどのお話を生徒たちは聞かせてもらった。講師からは、その後の学級通信に掲載した、生徒のイメージの変化と多文化共生に前向きな感想が紹介された。

9) まとめ

講師より、実際に実践授業を行って、簡単ではないと思った。教室の中には外国籍の生徒もいる。現実ではいろいろな問題があるが、少しずつ変わっているのではないかと、またそういうことをモデルとして少しずつ変えていけたらと思う。勤務校では中学3年生の授業の一環で「地球のステージ」*があるので、その事前学習など進めていく予定である。再び外国に行くなど、学びを継続し、こうした多文化共生の取り組みを続けていきたい。

<参考>

* 「地球のステージ」 → <http://e-stageone.org/>
(HPより)

「代表理事を務める桑山紀彦は医師として日本で診療を行う傍ら、世界の紛争地、貧困の地、震災などの被災地で医療支援活動を展開してきました。コンサートステージ「地球のステージ」では、桑山が世界で出会った人々の明るく、たくましく生きる姿を、大画面の映像とシンクロする音楽、語りによって、心で感じられるよう構成しています。」

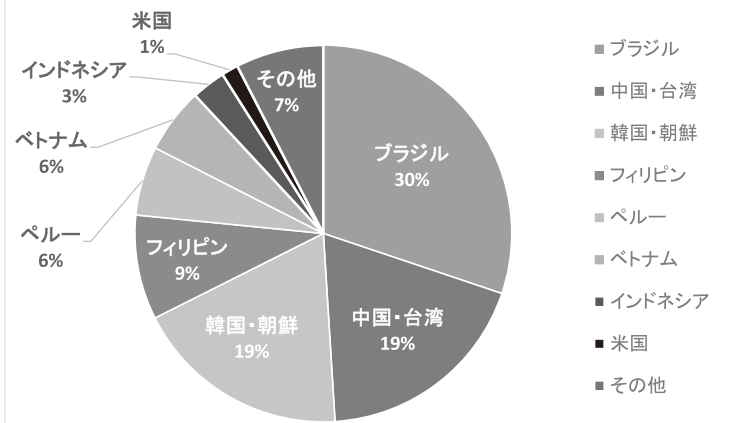
資料集

- ◇ 滋賀県における国籍別外国人人口
- ◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga活動報告
- ◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介
- ◇ 講師派遣事業について

滋賀県における国籍別外国人人口

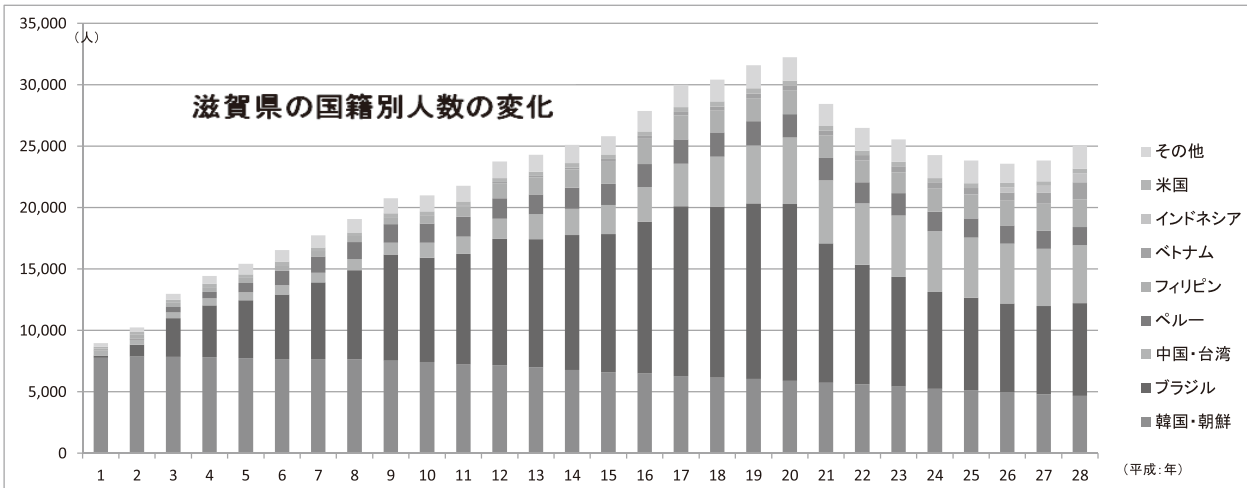
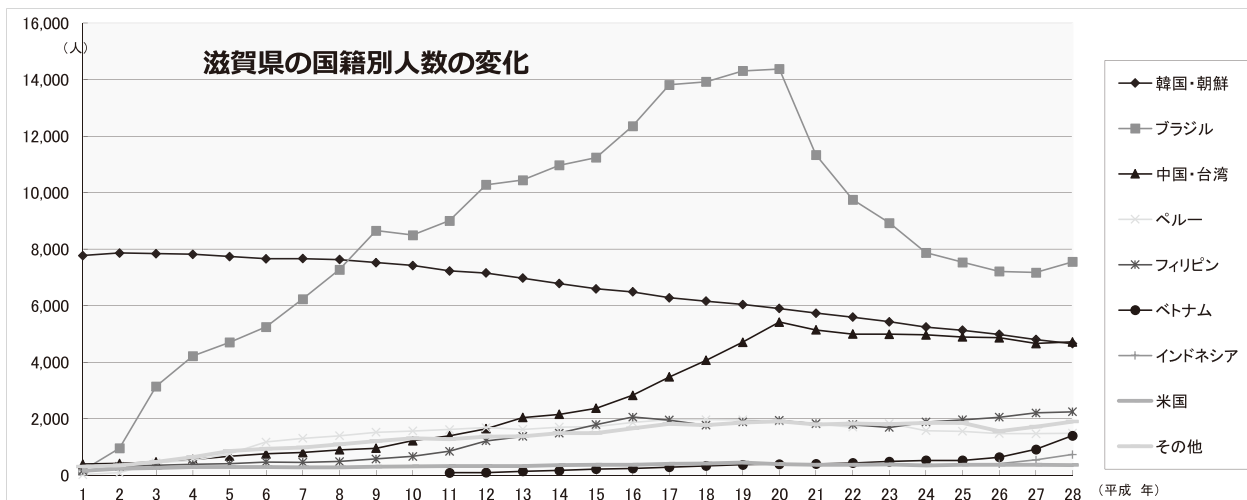
平成28年(2016年)12月末現在 国籍別外国人人口

公益財団法人滋賀県国際協会 作成



国籍	人口数
ブラジル	7,553人
中国・台湾	4,719人
韓国・朝鮮	4,654人
フィリピン	2,246人
ペルー	1,485人
ベトナム	1,400人
インドネシア	732人
米国	360人
その他	1,891人
合計	25,040人

*国籍数等:86ヶ国1地域



外国人人口の比率が2%以上の市町村 (平成28年12月末現在)

市町村	市町村名	外国人人口(人)	総人口(人)	外国人比率(%)	備考(上位4国籍)
1	湖南市	2,392	55,107	4.34%	ブラジル 1,171人, ペルー 361人, 韓国・朝鮮 303人, 中国・台湾 156人
2	愛荘町	746	21,272	3.51%	ブラジル 434人, フィリピン 74人, 中国・台湾 81人, ペルー 49人
3	甲賀市	2,736	91,724	2.98%	ブラジル 1,128人, 中国・台湾 365人, フィリピン 305人, ペルー 292人
4	長浜市	3,058	120,123	2.55%	ブラジル 1,605人, 中国・台湾 476人, ペルー 216人, フィリピン 202人
5	東近江市	2,699	115,178	2.34%	ブラジル 1,281人, 中国・台湾 377人, フィリピン 311人, 韓国・朝鮮 236人
6	彦根市	2,302	112,902	2.04%	中国・台湾 582人, ブラジル 486人, フィリピン 417人, ベトナム 331人
7	竜王町	246	12,314	2.00%	インドネシア 112人, 中国・台湾 43人, ベトナム 34人, 韓国・朝鮮 22人
	県全体	25,040	1,420,231	1.76%	ブラジル 7,553人, 中国・台湾 4,719人, 韓国・朝鮮 4,654人, フィリピン 2,246人

※滋賀県商工観光労働部観光交流局の調査に基づく。
 ※平成23年12月末までは外国人登録者数、平成24年12月末以降は住民基本台帳人口による。
 ※平成25年12月末の統計より、「中国」「台湾」でそれぞれ統計をまとめています。
 ※県民57人(56.7人)に1人が外国人。

「国際教育研究会 くろーがる ねっと し が Glocal net Shiga」について

私たち、「国際教育研究会 くろーがる ねっと し が Glocal net Shiga」は平成15年（2003年）4月に立ち上がったグループです。名前にある“Glocal”とは Global + Local を結びつけた造語です。“Think Globally, Act Locally”（地球規模で考え、地域から行動する）という開発教育／地球市民教育／グローバル教育の地域社会に対する考え方を現すことばがあり、地球と地域を結ぶことばとして生まれました。

このような考え方をうけ、地元滋賀（Shiga）で地域に根ざした人たちをつなぎ（Network）、みんなで一緒に地球市民を育む活動に取り組んでいきたいという思いが込められています。

会のねらいについて

- 地球上には、自国文化を含め、さまざまな生活・文化等があることを知り、多様性を受け入れること **多様性の尊重**
- 地域には、さまざまな文化背景や価値観等をもつ人びとがともに暮らしていることを認識し、多文化共生の意識を育むこと **多文化共生社会づくり**
- 世界と自分とはつながっていること、自分たちの生活と地球のどこかで起こっている問題が密接につながっていることを理解すること **相互依存関係の理解**
- 地球的課題を解決するために行動すること **公正・平和な社会づくり**
など

こうしたことをねらいとして、さまざまな実践方法（おもに参加型学習法）を学びながら、国際教育を促進することを目的としています。教育関係者・国際協力NGO関係者・外国籍住民・地域国際協会関係者、学生、青年海外協力隊OVなど、さまざまな立場や経歴の持ち主が参加しています。これまでに滋賀県の特徴を生かした題材をとらえ、「ブラジルボックス」・「わたしん家の食事から」「非識字体験ゲーム『ここは、何色？』『はじめてのお見舞い』」、「『言葉がわからない』体験ゲーム 何が起こった？（震災編）」の教材を開発してきました。また、より多くの方に国際教育を体験していただくよう年数回、国際教育ワークショップを開催しております。今後も幅広い知識や情報の交換を行い、より深みのある内容を取り上げていきたいと考えています。

入会について

毎月1回日曜日に例会を開催しています。さまざまな経歴のメンバーが集まるクラブ活動のような会です。渡航経験や語学については、まったく心配していただく必要はありませんので、この研究会にご関心のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣も随時承ります。

<お問合せ先>

公益財団法人滋賀県国際協会 担当 大森

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海 2階

電話：077-526-0931 ファックス：077-510-0601

E-mail：omori@s-i-a.or.jp

研究会 平成28年（2016年）度の主な活動について

開催日	内 容
4 / 17	国際教育教材体験フェア 分科会「難民すごろく」デモンストレーション体験・改良について 講師依頼対応について話し合い
5 / 15	国際教育教材体験フェア 分科会デモンストレーション「貿易ゲーム」「世界一大きな授業」体験 開発教育連続セミナー（大阪）講師依頼対応について話し合い
6 / 19	国際教育教材体験フェア 分科会運営、参加
7 / 31	開発教育全国研究集会 自主ラウンドテーブルについて打合せ 滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修のプログラム内容について検討 2016年度の国際教育ワークショップ（1日研修）のテーマについて
8 / 4	滋賀県総合教育センター 初任者10年経験者選択研修「国際理解教育」 実施
9 / 3	滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修「国際理解教育」報告 開発教育全国研究集会 報告 開発教育連続セミナー（大阪）内容の検討 講師依頼対応について話し合い 2016年度の国際教育ワークショップ（1日研修）のテーマについて
10 / 2	開発教育連続セミナー（大阪）「いま、もっと知ろうブラジル」デモンストレーション体験、内容検討 講師依頼対応について話し合い 2016年度国際教育ワークショップ テーマ・講師について話し合い
11 / 6	開発教育連続セミナー（大阪）「いま、もっと知ろうブラジル」実践報告 県内学校等での出前授業の実践報告 講師依頼対応について話し合い 2016年度国際教育ワークショップ テーマ・講師について話し合い
12 / 4	県内学校等での出前授業の実践報告 2017年度国際教育教材体験フェア 分科会について話し合い 人種差別について考える授業案づくり
1 / 28	2016年度国際教育ワークショップ「身近な題材から国際理解につなげる授業づくり」 参加
2 / 26	次年度 国際教育教材体験フェア 分科会について、 次年度 滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修について話し合い JICA滋賀デスク 山本さんによるケニアについてのワークショップデモンストレーション
3 / 26	次年度 国際教育教材体験フェア 分科会について

【今年度の活動の様子】

「世界一大きな授業」
を終えて▶



◀ 開発教育全国研究集会
自主ラウンドテーブルにて

国際教育・開発教育教材の紹介および貸し出し規定について

(公財) 滋賀県国際協会

当協会では、国際理解教育および開発教育に関する資料・教材（ビデオ等も含む）を633点（H28年度末現在）所蔵しており、自由に閲覧・視聴することができますので、お気軽にご利用ください。

なお、当協会ホームページからも教材目録、貸出申請書様式が入手できます。

<http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/kyouzai/index.htm>

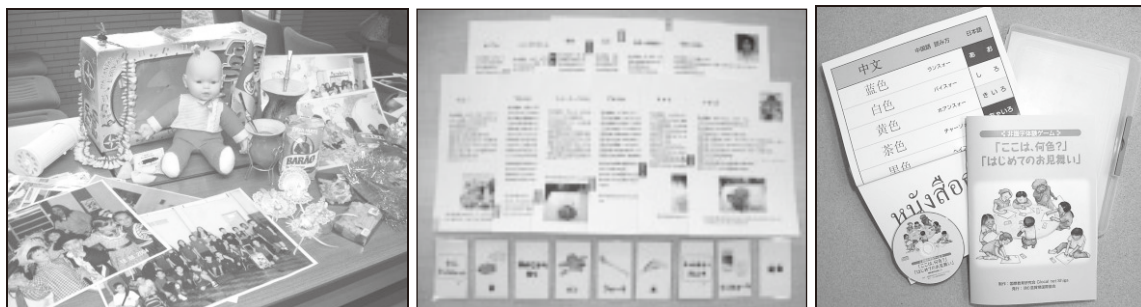
<利用について>

- 閲覧・視聴 どなたでもご自由にご利用いただけます。
ただし、事務所にて保管しておりますので、閲覧を希望される場合は、職員にその旨お伝えください。

- 利用時間 日曜日から金曜日まで（祝日を除く） 午前9時から午後5時まで

- 貸 出 原則として、会員および団体（学校を含む）に限ります。
所定の貸出申込書にご記入の上、当協会窓口にご提出ください。
貸出期間：2週間以内（申請により期間延長可能）
貸出冊数：1回5点以内

- 返 却 当協会窓口まで直接ご返却ください。やむを得ないと認められる場合は、借受側の料金負担のもとに郵送・託送を認めます。
なお、破損、紛失の場合は実費をご負担いただきます。



貸出教材の一部

<お問合せ先>

公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話 077-526-0931 ファックス 077-510-0601

HP <http://www.s-i-a.or.jp> E-mail siamail@mx.bw.dream.jp

国際理解教育・開発教育教材目録

分類番号	教 材 名	発 行 ・ 出 版 社	種 類
1	0-0概論1 NGOスタッフのための国内事業ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
2	0-0概論2 参加型 ワークショップ入門	明石書店	書籍
3	0-0概論3 テキスト国際理解	国土社	書籍
4	0-0概論4 国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想	国土社	書籍
5	0-0概論5 国際理解 重要用語300の基礎知識	明治図書	書籍
6	0-0概論6 南北問題と開発教育 地球市民として生きるために	亜紀書房	書籍
7	0-0概論7 開発教育2006 Vol.53 特集 開発教育と教材	明石書店	書籍
8	0-0概論8 地球市民教育のすすめかた	明石書店	書籍
9	0-0概論9 はてな？ なぜかしら？ 国際問題 全3巻	教育画劇	書籍
10	0-0概論10 開発教育2006 No.47	開発教育協会	ブックレット
11	0-0概論11 開発教育2006 No.49 特集 開発教育のこれまでとこれから	開発教育協会	ブックレット
12	0-0概論12 開発教育2006 No.50 特集 平和を築く学び	開発教育協会	ブックレット
13	0-0概論13 開発教育2006 No.51 特集 地域から描くこれからの開発教育	開発教育協会	ブックレット
14	0-0概論14 開発教育2006 No.52 特集 いのちを育む学び	開発教育協会	ブックレット
15	0-0概論15 開発教育実践の手引き 開発教育ガイドブック2	国際協力推進協会	ブックレット
16	0-0概論16 「開発教育」ってなあに？ 開発教育Q&A集 改訂版	開発教育協会	書籍
17	0-0概論17 開発教育キーワード51 開発教育ブックレットシリーズNo.5	開発教育協議会	ブックレット
18	0-0概論18 新しい開発教育のすすめ方	古今書院	書籍
19	0-0概論19 新しい開発教育のすすめ方II	古今書院	書籍
20	0-0概論20 World studie 学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	書籍
21	0-0概論21 地球市民を育む学習 -Global teacher, Global learner	明石書店	書籍
22	0-0概論22 DEAR News 100号～	開発教育協会	ニュースレター
23	0-0概論23 開発教育 特集参加型開発と参加型学習	開発教育協会	書籍
24	0-0概論24 いっしょにESD！環境・人権・参加の新世紀教育	国際理解教育センター	ブックレット
25	0-0概論25 「地球時代」の教育とは	岩波書店	書籍
26	0-0概論26 地域から描くこれからの開発教育	新評論	書籍
27	0-0概論27 開発教育2008 特集 開発教育と市民性	開発教育協会	書籍
28	0-0概論28 開発教育2009 特集 開発教育の教師・指導者とファシリテーター	開発教育協会	書籍
29	0-0概論29 開発教育2010 特集 オルタナティブな経済と開発教育	開発教育協会	書籍
30	0-0概論30 開発教育2011 特集 オルタナティブな教育と開発教育	開発教育協会	書籍
31	0-0概論31 パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む	開発教育協会	書籍
32	0-0概論32 世界で生きるカー・自分を本当にグローバル化する4つのステップ	太郎次郎社エディタス	書籍
33	0-0概論33 シティズンシップと教育—変容する世界と市民性	英治出版	書籍
34	0-0概論34 開発教育2012 vol.59 特集 開発教育 この10年 そして未来へ向けて	頸草書房	書籍
35	0-0概論35 開発教育2013 vol.60 特集 学びとしてのフェアトレード	開発教育協会	ブックレット
36	0-0概論36 開発教育2014 vol.61 特集 開発教育を語る市民社会	開発教育協会	ブックレット

国際教育・開発教育 貸出教材目録

37	0-0概論37	地域の問題解決を促進するファシリテーターハンドブック	開発教育協会	ブックレット
38	0-0概論38	この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう	文芸春秋	書籍
39	0-0概論39	グローバル時代の国際理解教育—実践と理論をつなぐ	明石書店	書籍
40	0-0概論40	100歳のジャーナリストからさきみへ (人類)	汐文社	書籍
41	0-0概論41	100歳のジャーナリストからさきみへ (育つ)	汐文社	書籍
42	0-0概論42	100歳のジャーナリストからさきみへ (生きる)	汐文社	書籍
43	0-0概論43	100歳のジャーナリストからさきみへ (平和)	汐文社	書籍
44	0-0概論44	100歳のジャーナリストからさきみへ (学ぶ)	汐文社	書籍
45	0-0概論45	SDGsと開発教育 持続可能な開発目標のための学び	学文社	書籍
46	0-0概論46	開発教育2015 vol. 62 特集 「平和」に向き合う開発教育	開発教育協会	ブックレット
47	0-0概論47	開発教育2016 vol. 63 特集 女性をとりまく問題と開発教育	開発教育協会	ブックレット
48	0-0概論48	増補学び舎 中学歴史教科書 ともに学ぶ人間の歴史	学び舎	書籍
49	1-0実践事例1	わくわく開発教育 開発教育ブックレットシリーズNo.2	開発教育協議会	ブックレット
50	1-0実践事例2	いきいき開発教育 総合学習に向けてたカリキュラムと教材	開発教育協議会	ブックレット
51	1-0実践事例3	つながれ開発教育 学校と地域のパートナーシップ事例集	開発教育協議会	ブックレット
52	1-0実践事例4	チャレンジ総合的学習1 中学校「国際理解」ファックス教材集	明治図書	書籍
53	1-0実践事例5	「いのち」を考える授業プラン48	小学館	書籍
54	1-0実践事例6	人間関係を豊かにする授業実践プラン50	小学館	書籍
55	1-0実践事例7	みんなとの人間関係を豊かにする教材55	小学館	書籍
56	1-0実践事例8	いっしょに学ぼう Learning Together	国際理解教育センター	ブックレット
57	1-0実践事例9	TOOL8 8つの参加型く基本ツール>を使いこなす	国際理解教育センター	ブックレット
58	1-0実践事例10	STEP5 参加型ですすめる5つのステップ	国際理解教育センター	ブックレット
59	1-0実践事例11	参加型で伝える12のものもの見方・考え方	国際理解教育センター	ブックレット
60	1-0実践事例12	対立は悪くない ～学校・地域の問題解決に活かす～	国際理解教育センター	ブックレット
61	1-0実践事例13	Let's Cooperate 穏やかにもめごとを解決するための学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
62	1-0実践事例14	ハンドブック 楽しく学び合うワークショップ	国際理解教育情報センター	ブックレット
63	1-0実践事例15	みんなでつなごう！ 教室と世界 「総合的な学習の時間（国際理解）」に役立つ学習プラン	(財) 福島県国際交流協会	ブックレット
64	1-0実践事例16	国際理解教育ハンドブック 地域に暮らす外国人と一緒に学ぼう！	名古屋国際センター	ブックレット
65	1-0実践事例17	参加型学習で世界を感じる 開発教育実践ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
66	1-0実践事例18	開発教育・国際理解教育ハンドブック 小中学校教育員副読本	国際協力推進協会	ブックレット
67	1-0実践事例19	教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻	JICA中部国際センター	ブックレット
68	1-0実践事例20	対立から学ぼう 中等教育におけるカリキュラムと教え方	国際理解教育センター	ブックレット
69	1-0実践事例21	ERIC レッスンバンク	国際理解教育センター	ペーパー
70	1-0実践事例22	レッスンバンク 『ワールドスタディーズ』追加・発展教材集	国際理解教育センター	
71	1-0実践事例23	レッスンバンク 『人権教育ファシリテーターハンドブック』追加・発展教材集	国際理解教育センター	
72	1-0実践事例24	活動（アクティビティ）を進める国際理解教育教材 全12セット 2005年改訂版	地球の友と歩む会LIFE	ワークキット
73	1-0実践事例25	グローバル・クラスルーム	明石書店	書籍

国際教育・開発教育 貸出教材目録

74	1-0実践事例26	身近なことから世界と私を考える授業	明石書店	書籍
75	1-0実践事例27	市民学習実践ハンドブック	開発教育協会	書籍
76	1-0実践事例28	国際交流・国際協力に基づくESD教材・カリキュラム	松山ESD促進実行委員会	書籍
77	1-0実践事例29	食からみえる「現代」の授業	太次郎エディタス	書籍
78	1-0実践事例30	はじまりをたどる「歴史」の授業	太次郎エディタス	書籍
79	1-0実践事例31	若者のためのESD 「私」から広がる世界	ESDR	書籍
80	1-0実践事例32	身近なことから世界と私を考える授業II オキナワ・多みんぞくニホン・核と温暖化	明石書店	書籍
81	1-0実践事例33	世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド 開発教育・ESDを教室へ	開発教育協会	書籍
82	1-0実践事例34	開発教育実践ハンドブック 参加型学習で世界を感じる[改訂版]	開発教育協会	書籍
83	1-0実践事例35	社会参画の授業づくり-持続可能な社会に向けて	古今書院	書籍
84	1-0実践事例36	ファシリテーション・ラフブック入門	明治図書出版	書籍
85	1-0実践事例37	グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング	三省堂	書籍
86	1-0実践事例38	「共に生きる」をデザインする グローバル教育教材と活用ハンドブック	メディア総合研究所	書籍
87	1-0実践事例39	ESD・開発教育 実践者のための ふりかえり・自己評価ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
88	1-0実践事例40	マンガアジア～アジアのマンガから世界を見よう～	名古屋国際センター・国際交流基金	ブックレット
89	1-0実践事例41	先生とNGOが手をつないだ！地域でつくる国際理解教育	福島国際交流協会	ブックレット
90	1-0実践事例42	世界の国を知る 世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 活用マニュアル	愛知県国際交流協会	ブックレット
91	1-0実践事例43	世界はともだち2	岩手県国際交流協会	ブックレット
92	1-0実践事例44	たった一つを変えただけ！クラスも教師も自立する「質問づくり」	新評論	書籍
93	1-0実践事例45	生徒の生き方が変わる グローバル教育の実践	メディア総合研究所	書籍
94	1-0実践事例46	「主体的学び」につなげる評価と学習方法—カナダで実践されるICEモデル(主体的学びシリーズ—主体的学び研究所)	東信堂	書籍
95	1-0実践事例47	教育ファシリテーターになるう！グローバルな学びをめざす参加型授業	弘文堂	書籍
96	1-0実践事例48	社会科 アクティブ・ラーニングへの挑戦 社会参画をめざす参加型学習	明石書店	書籍
97	1-1実践事例1	アクティビティ事典-2002年度版-	国際理解教育センター	CD
98	1-1実践事例2	ゼロから始める主権者教育 18歳の選挙権	PARC	DVD
99	2-0南北問題1	フード・ファースト・カリキュラム 食べものを通じて世界を見つめよう	国際理解教育センター	ブックレット
100	2-0南北問題2	テマワーク グローバルな視野を活動の中で育てる	国際理解教育センター	ブックレット
101	2-0南北問題3	食べものから世界が見える	地球市民アカデミア	ワークキット
102	2-0南北問題4	マジカルバナナ	地球の木	ワークキット
103	2-0南北問題5	改訂版 NEWマジカルバナナ	地球の木	ワークキット
104	2-0南北問題6	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本	開発教育協会	ブックレット
105	2-0南北問題7①②	いい貿易って何だろう いっぱいのコーヒーから考える世界の貿易 開発教育教材シリーズ②	開発教育協議会	ブックレット
106	2-0南北問題8	たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協議会	ブックレット
107	2-0南北問題9	改訂版 たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協会	ブックレット
108	2-0南北問題10①②	新・貿易ゲーム 開発教育教材シリーズ④	開発教育協会	ブックレット
109	2-0南北問題11	新・貿易ゲーム [改訂版]	開発教育協会	ブックレット
110	2-0南北問題12	貧困と開発 豊かさへのエンパワメント	開発教育協会	ブックレット

国際教育・開発教育 貸出教材目録

111	2-0南北問題13	コーヒーカップの向こう側	開発教育協会	ブックレット
112	2-0南北問題14	小学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
113	2-0南北問題15	中学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
114	2-0南北問題16	地球に学ぶ新しい地理授業	古今書院	ブックレット
115	2-0南北問題17	私たちの声が聞えますか？ 貧しい人々の声	世界銀行	ブックレット
116	2-0南北問題18	コンビニ弁当 16万キロの旅	太郎次郎社	書籍
117	2-0南北問題19	世界から貧しさをなくす30の方法	合同出版	書籍
118	2-0南北問題20	世界と地球の困った現実	明石書店	書籍
119	2-0南北問題21	歩いてみてきていたモノのこし方行く末	京都自由学校	ブックレット
120	2-0南北問題22	バナナとエビと私たち 岩波ブックレットNo.551	岩波書店	ブックレット
121	2-0南北問題23	フェア・トレード 公正なる貿易を求めて	新評論	書籍
122	2-0南北問題24	日本はどこへ行く？	太郎次郎社	書籍
123	2-0南北問題25	世界の貧困 1日1ドルで暮らす人びと	青土社	書籍
124	2-0南北問題26	発展神話の仮面を剥ぐ グローバル化は世界を豊かにするのか？	古今書院	書籍
125	2-0南北問題27	徹底解剖100円ショップ 日常化するグローバル化ゼーション	コモنز	書籍
126	2-0南北問題28	たみちゃんとなの人のびと	明石書店	書籍
127	2-0南北問題29	たみちゃんとなの人のびと part2	明石書店	書籍
128	2-0南北問題30	たみちゃんとなの人のびと part3	明石書店	書籍
129	2-0南北問題31	世界がもし100人の村だったら (英訳付)	マガジンハウス	書籍
130	2-0南北問題32	世界がもし100人の村だったら②	マガジンハウス	書籍
131	2-0南北問題33	世界がもし100人の村だったら③たべもの編	マガジンハウス	書籍
132	2-0南北問題34	世界がもし100人の村だったら④子ども編	マガジンハウス	書籍
133	2-0南北問題35	新・ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら	開発教育協会	ブックレット
134	2-0南北問題36	改訂版 100人村カードセット	開発教育協会	ブックレット
135	2-0南北問題37①②	100人村ワークショップセット		ワークキット
136	2-0南北問題38	レヌカの学び	あおり開発教育研究会	ワークキット
137	2-0南北問題39	ケータイの一生 — ケータイを通して知る 私と世界のつながり	開発教育協会	ブックレット
138	2-0南北問題40	お弁当屋さんゲーム — 食のグローバル化ゼーションを考える	開発教育協会	ブックレット
139	2-0南北問題41	ケータイの裏側	コモنز	書籍
140	2-0南北問題42	世界の半分が餓えるのはなぜ	合同出版	書籍
141	2-0南北問題43	世界がもし100人の村だったら 完結編	マガジンハウス	書籍
142	2-0南北問題44	NHK地球データマップ 世界の“今”から“未来”を考える	NHK出版	書籍
143	2-0南北問題45	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
144	2-0南北問題46	フードマイレージどこからくる？私たちの食べ物	開発教育協会	書籍
145	2-0南北問題47	世界中から人身売買がなくならないのはなぜ？	合同出版	書籍
146	2-0南北問題48	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第3版	開発教育協会	ブックレット
147	2-0南北問題49	カップめんから世界が見える	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット

国際教育・開発教育 貸出教材目録

148	2-0南北問題50	地球の水のものがたり～命の水が遠ざかる国～	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
149	2-0南北問題51	戦闘機1機で学校何校つくれるか？	合同出版	書籍
150	2-0南北問題52	世界から飢餓を終わらせるための30の方法	合同出版	書籍
151	2-0南北問題53	旅をしなから	いのちのことば社	絵本
152	2-0南北問題54	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと	なつみらSHOP	書籍
153	2-0南北問題55	妹は3才 お医者さんがいてくれたなら	合同出版	書籍
154	2-0南北問題56	ダイアモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
155	2-0南北問題57	ぼくは8歳、エイズで死んでいくぼくの話聞いて	合同出版	書籍
156	2-0南北問題58	紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る20のヒント	合同出版	書籍
157	2-0南北問題59	マジカルバナナ V3	地球の木	ワークキット
158	2-0南北問題60	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第4版	開発教育協会	ブックレット
159	2-0南北問題61	世界の国1位と最下位—国際情勢の基礎を知ろう	岩波ジュニア新書	書籍
160	2-0南北問題62	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	汐文社	絵本
161	2-0南北問題63	あなたのTシャツはどこから来たのか？誰も書かなかったグローバルゼーションの真実	東洋経済新報社	書籍
162	2-1南北問題1	徹底解剖100円ショップ 日常化するグローバルゼーション	アジア太平洋資料センター	ビデオ
163	2-1南北問題2	あぶない野菜 グローバル化する食卓	アジア太平洋資料センター	ビデオ
164	2-1南北問題3	奪われたエビ	アジア太平洋資料センター	ビデオ
165	2-1南北問題4	エビの向こうにアジアが見える	アジア太平洋資料センター	ビデオ
166	2-1南北問題5	コーヒーの秘密 南北問題が見えてくる！	アジア太平洋資料センター	ビデオ
167	2-1南北問題6	種子をまもれ！ アグリビジネスとたたかうインド農民	アジア太平洋資料センター	ビデオ
168	2-1南北問題7	バナナ植民地・フィリピン	アジア太平洋資料センター	ビデオ
169	2-1南北問題8	ゴミを生かす人びと	アジア太平洋資料センター	ビデオ
170	2-1南北問題9	路上の子どもたち ブラジル・ストリートチルドレンの闘い	アジア太平洋資料センター	ビデオ
171	2-1南北問題10	地球データマップ	NHK	ビデオ
172	2-1南北問題11	つながっている世界 今日からできることってなんだろう？	和歌山県人権啓発センター	CD
173	2-1南北問題12	身近なモノを通して考える、世界の貧困・格差・環境 私たちの暮らしと世界のつながり	関西NGO協議会	DVD
174	2-1南北問題13	あいのり「緑の革命」	日本国際飢餓対策機構	DVD
175	2-1南北問題14	ゴンドールのやさしい光 パワーポイント版	日本国際飢餓対策機構	DVD
176	2-1南北問題15	バイオ燃料 畑でつくるエネルギー	アジア太平洋資料センター	DVD
177	2-1南北問題16	食べるためのマグロ売るためのマグロ	アジア太平洋資料センター	DVD
178	2-1南北問題17	パームオイル	アジア太平洋資料センター	DVD
179	2-1南北問題18	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと&地域から始まる未来：グローバル経済を超えて	なつみらSHOP	DVD
180	2-1南北問題19	フードインク		DVD
181	2-1南北問題20	おじいさんと草原の小学校	アミューズソフトエンタテインメント	DVD
182	2-1南北問題21	もっと！フェアトレード 世界につながる私たちの暮らし	PARC	DVD
183	2-1南北問題22	スマホの真実 紛争鉱物と環境破壊とのつながり/ウェイク・アップ・コール	PARC	DVD
184	2-1南北問題23	葉は誰のものか エイズ治療薬と大企業の特許権	PARC	DVD

国際教育・開発教育 貸出教材目録

185	3-0平和1	世界を変えるお金の使い方			ダイヤモンド社	書籍
186	3-0平和2	戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方			合同出版	書籍
187	3-0平和3	〔図説〕世界の紛争地域			PHP研究所	書籍
188	3-0平和4	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと			求龍堂	書籍
189	3-0平和5	母さん、ぼくは生きてます			マガジンハウス	書籍
190	3-0平和6	正直な気持ちで話そう イスラエル、パレスチナのリアル・ライフ			たちばな出版	書籍
191	3-0平和7	地雷の村で「寺子屋」づくり			PHP研究所	書籍
192	3-0平和8①②	Talk for Peace! もっと話そう!			開発教育協議会	ブックレット
193	3-0平和9	アフガニスタンから来たモハメッド君のおはなし			つげ書房新社	書籍
194	3-0平和10	ぼくの見えた戦争 2003年イラク			ポプラ社	書籍
195	3-0平和11	Peace Archives 平和ミュージアム (DVD付)			岩波書店	書籍・DVD
196	3-0平和12	なんみんな 難民理解のためのワークブック 故郷をはなれて			難民事業本部	ブックレット
197	3-0平和13	増補改訂版 Talk for Peace もっと話そう! 平和を築くためにできること			開発教育協会	ブックレット
198	3-0平和14	アジアのころころ (英訳付)			自由国民社	絵本
199	3-0平和15	サニーのおねがい 地雷ではなく花をください (英訳付)			自由国民社	絵本
200	3-0平和16	サニー カンボジアへ 続・地雷ではなく花をください (英訳付)			自由国民社	絵本
201	3-0平和17	サニー ボスニア・ヘルツェゴビナへ 続々・地雷ではなく花をください (英訳付)			自由国民社	絵本
202	3-0平和18	サニー アフガニスタンへ 心をこめて地雷ではなく花をください (英訳付)			自由国民社	絵本
203	3-0平和19	難民と地雷 全3巻			草土文化	書籍
204	3-0平和20	平和のアクティビティブック			YMCA	ブックレット
205	3-0平和21	ポーボキ、平和って、なに色?			エピック	絵本
206	3-0平和22	イマジン9 想像してごらん、戦争のない世界を			合同出版	絵本
207	3-0平和23	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと			求龍堂	書籍
208	3-0平和24	クラスター爆弾なんてもういらない。世界から兵器をなくすみんなの願い			合同出版	書籍
209	3-0平和25	岩波DVDブック Peace Archives 東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える			岩波書店	書籍・DVD
210	3-0平和26	創造的 (クリエイティブ) に対立解決—教え方ガイド—			開発教育協会・立教大学	書籍
211	3-0平和27	子どもとできる創造的な対立解決—実践ガイド—			開発教育協会	書籍
212	3-0平和28	井上ひさしの子どもにつたえたる日本国憲法			講談社	書籍
213	3-0平和29	『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』			朝日出版社	書籍
214	3-0平和30	ピースフルな子どもたち 戦争・暴力・いじめを越えて			せせらぎ出版	書籍
215	3-0平和31	大量破壊兵器、カラシニコフを世界からなくす方法			合同出版	書籍
216	3-0平和32	ぼくらのアフリカに戦争がなくなるのほなぜ?			合同出版	書籍
217	3-0平和33	さよなら紛争 (14歳の世渡り術)			河出書房新社	書籍
218	3-0平和34	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか?			合同出版	書籍
219	3-0平和35	ビデオ・メッセージでもすぶアジアと日本—わたしがやってきた戦争のつたえ方 (教科書に書かれなかった戦争)			梨の木舎	書籍
220	3-0平和36	へいわってどんなこと? 日・中・韓平和絵本			童心社	絵本
221	3-1平和1	戦争の傷後 Legacies of War			国連広報センター	ビデオ

国際教育・開発教育 貸出教材目録

222	3-1 平和2	難民女性		UNHCR	ビデオ
223	3-1 平和3	難民になるって、どういうこと?		UNHCR	ビデオ
224	3-1 平和4	難民もみんな同じ地球人		UNHCR	ビデオ
225	3-1 平和5	世界の難民はどこに 2004年GLOBAL VIEW		UNHCR	ビデオ
226	3-1 平和6	ほんのちよっと変えてみよう		UNHCR	ビデオ
227	4-0 環境1	もうひとつの日本地図		野草社	書籍
228	4-0 環境2	1秒の世界		ダイヤモンド社	書籍
229	4-0 環境3	地球がもし100cmの球だったら		世界文化社	書籍
230	4-0 環境4	地球では1秒間にサッカー場1面分の緑が消えている		マガジンハウス	書籍
231	4-0 環境5	あなたが世界を変える日		学陽書房	書籍
232	4-0 環境6	地球買いモノ白書		コモンズ	書籍
233	4-0 環境7	21世紀の子どもたちが地球を救う		プロンス新社	書籍
234	4-0 環境8	フアシリテーター入門		つげ書房新社	書籍
235	4-0 環境9	私にできることは、なんだろう		ascom	書籍
236	4-0 環境10	にもの木のある村 (ベンガル語訳付)		大阪国際交流センター	絵本
237	4-0 環境11	森におかえり (英訳付)		自由国民社	絵本
238	4-0 環境12	森が海をつくる (英訳付)		自由国民社	絵本
239	4-0 環境13	空気はだれのもの? (英訳付)		自由国民社	絵本
240	4-0 環境14	ジェイクの海のなままたち (英訳付)		自由国民社	絵本
241	4-0 環境15	ホタルのくる町 (英訳付)		自由国民社	絵本
242	4-0 環境16	エレナとダフニ (英訳付)		自由国民社	絵本
243	4-0 環境17	森の暮らしの記憶 (英訳付)		自由国民社	絵本
244	4-0 環境18	「私たちのピン川」 北タイ環境教育カリキュラム		開発教育協会	ブックレット
245	4-0 環境19	食べものから考える環境教育ガイドブック FOOD		エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
246	4-0 環境20	コミュニケーション・エンパワーメント		エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
247	4-0 環境21	環境教育推進ハンドブック		国際理解教育センター	ブックレット
248	4-0 環境22	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム (生徒用)		国際理解教育センター	ブックレット
249	4-0 環境23	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム		国際理解教育センター	ブックレット
250	4-0 環境24	未来を学ぼう わたしと地球を結ぶ価値観とビジョン		国際理解教育センター	ブックレット
251	4-0 環境25①②	パーム油のはなし 「地球にやさしい」ってなんだろう?		開発教育協会	ワークキット
252	4-0 環境26	みみずのカーロ シェフアア先生の自然の学校		合同出版	書籍
253	4-0 環境27	図解 地球の真実 (別冊宝島 1997)		宝島社	書籍
254	4-0 環境28	もっと話そう! エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための16の方法		開発教育協会	書籍
255	4-0 環境29	パーム油の話 「地球にやさしい」ってなんだろう? 改訂版		開発教育協会	ワークキット
256	4-0 環境30	水から広がる学び アクティビティ20		開発教育協会	ワークキット
257	4-1 環境1	森はどこへ行く オーストラリアの原生林が日本の紙になるまで		アジア太平洋資料センター	ビデオ
258	4-1 環境2	緑の砂漠 植林が環境を破壊する		アジア太平洋資料センター	ビデオ

国際教育・開発教育 貸出教材目録

259	4-1環境3	切り売りされるタイ	ブーケット島の観光開発	アジア太平洋資料センター	ビデオ
260	4-1環境4	いつかこの木に見守られて	タイ植林体験記	オイスカ	ビデオ
261	4-1環境5	緑の革命「あいのり」			ビデオ
262	4-1環境6	ベットボトルの水		アジア太平洋資料センター	DVD
263	4-1環境7	世界をめぐる電子ゴミ		アジア太平洋資料センター (PARC)	DVD
264	5-0人権1	識字BOX		国際識字年推進和泉連絡会	ワーキングキット・カルタ・ビデオ
265	5-0人権2	人権教育ファシリテーター・ハンドブック 参加型「気づきから築きへ」プログラム		国際理解教育センター	ブックレット
266	5-0人権3	いっしょに考えて！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 発展編		国際理解教育センター	ブックレット
267	5-0人権4	いっしょにすすよめよう！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 実践編		国際理解教育センター	ブックレット
268	5-0人権5	人権教育のためのコンパス [羅針盤]		明石書店	書籍
269	5-0人権6	同和問題・人権問題学習教材 (パート4) こうもりくん		滋賀県解放県民センター	ブックレット
270	5-0人権7	国際理解教育と人権		開放出版社	書籍
271	5-0人権8	ブレノス・ディアス・ニッポン ～外国人が生きる「もうひとつの日本」～		ラティーナ	書籍
272	5-0人権9	知っていますか？ 死刑と人権 一問一答		解放出版社	書籍
273	5-0人権10	非核と先住民族の独立をめざして		現代人文社	ブックレット
274	5-0人権11	デカセーギ 逆流する日系ブラジル人		草思社	書籍
275	5-0人権12	米軍に土地を奪われた沖縄人		新読書社	書籍
276	5-0人権13	ええぞ、カルロス		大阪市立総合生涯学習センター	絵本
277	5-0人権14	チヨコレートから世界が見える人権を基盤にしたESD教材		ヒューライツ大阪	書籍
278	5-0人権15	『人権で世界を変える30の方法』 (ヒューマンライツ・ナウ編)		合同出版	書籍
279	5-0人権16	あなたとわたしの幸せを築く世界人権宣言 世界人権宣言		世界人権宣言大阪連絡会議	ブックレット
280	5-0人権17	ハイトスピーチとたたかう！		岩波書店	書籍
281	5-0人権18	人権教育指導資料集 人権教育を進めるために		長野県教育委員会	書籍
282	5-0人権19	地球市民の人権教育ー15歳からのレッスンプラン		解放出版社	書籍
283	5-0人権20	多様性の学級づくり 人権教育アクティビティ集		解放出版社	書籍
284	5-1人権1	国際人権を知っていますか ～国連と市民のとりくみ～		ヒューライツ大阪	ビデオ
285	5-1人権2	自立をめざして ～アジアの女性とこどもたち～		ヒューライツ大阪	ビデオ
286	5-1人権3	日本の国際化と人権 ～違いを認めあう地域社会を～		ヒューライツ大阪	ビデオ
287	5-1人権4	女たちが語るインド		アジア太平洋資料センター	ビデオ
288	5-1人権5	もうひとつの戦争 インドの人口政策と女性たち		アジア太平洋資料センター	ビデオ
289	5-1人権6	映画ジャビルカ日本語版 私たちの電気がアポリジニの大地を壊す		アジア太平洋資料センター	ビデオ
290	5-1人権7	ミナノの笑顔 3 7 言語収録版DVD		ACCU	DVD
291	5-1人権8	"DVD もうひとつのツーリズム「先住民族エゴツアアの始動」 NGO/NPOキャンペンハンドブック"		NPO法人さっぽろ自由学校「遊」	DVD
292	6-0英語教育1	JAPAN ALMANAC 2005 英和対訳データ年鑑		朝日新聞社	書籍
293	6-0英語教育2	公立小学校でやってみよう！ 英語		草木文化	書籍
294	6-0英語教育3	総合英語：地球市民として生きる		三修社	ブックレット
295	6-0英語教育4	英語で国際理解教育 (CD付) 小学1・2年版		小学館	書籍・CD

国際教育・開発教育 貸出教材目録

296	6-0英語教育5	英語で国際理解教育 (CD付) 小学3・4年版	小学館	書籍・CD
297	6-0英語教育6	英語で国際理解教育 (CD付) 小学5・6年版	小学館	書籍・CD
298	6-0英語教育7	小学校英語の授業プラン つくって調べる地球環境 (CD付)	小学館	書籍・CD
299	6-0英語教育8	小学生の英会話活動 〜ゲームと歌あそび〜	小学館	書籍
300	6-0英語教育9	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい!人間について	金の星社	絵本
301	6-0英語教育10	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい!平和について	金の星社	絵本
302	6-0英語教育11	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい!環境について	金の星社	絵本
303	6-0英語教育12	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい!いろいろな文化	金の星社	絵本
304	6-0英語教育13	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい!世界の国々	金の星社	絵本
305	6-0英語教育14	えほんで楽しむ英語の世界	一声社	書籍
306	6-0英語教育15	アメリカの小学校ではこうやって英語を教えている	径書房	書籍
307	6-0英語教育16	CAN YOU FIND ME?	ACCU	絵本
308	6-0英語教育17	はじめての英語の歌—歌でおぼえるらくらくイングリッシュ	学研マーケティング	書籍
309	6-0英語教育18	ヘンリー—おじさんの英語でレッスンができる本—ネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集	アルク	書籍
310	6-0英語教育19	小学校 テーマで学ぶ英語活動 BOOK1	三友社出版	書籍
311	6-0英語教育20	和の行事えほん Annual Events in Japan Spring & Summer	Ehon House	書籍
312	6-0英語教育21	和の行事えほん Annual Events in Japan Autumn & Winter	Ehon House	書籍
313	6-0英語教育22①	your world 英語テキスト	サクソンコーポトパブリッシング	書籍
314	6-0英語教育22②	your world 英語テキスト 別売指導用CD	サクソンコーポトパブリッシング	CD-ROM
315	6-0英語教育23①	your world 国際理解テキスト	サクソンコーポトパブリッシング	書籍
316	6-0英語教育23②	your world 国際理解テキスト 別売指導用CD	サクソンコーポトパブリッシング	CD-ROM
317	6-0英語教育24	チャレンジ!キッズ スピーチ 1 できるよ!はじめてのスピーチ	大月書店	書籍
318	6-0英語教育25	チャレンジ!キッズ スピーチ 2 平和をもとめた子どもたち	大月書店	書籍
319	6-0英語教育26	チャレンジ!キッズ スピーチ 3 子どもの権利をうたえる	大月書店	書籍
320	7-0多文化1	My name is... 世界にひとつだけの名前	角川書店	書籍
321	7-0多文化2	日本のなかの世界	新幹社	書籍
322	7-0多文化3	多文化共生のジレンマ	明石書店	書籍
323	7-0多文化4	多文化共生の学校づくり	明石書店	書籍
324	7-0多文化5	多文化共生のまちづくり	明石書店	書籍
325	7-0多文化6	多文化教育 多様性のための教育学	明石書店	書籍
326	7-0多文化7	幼児のための多文化理解教育	明石書店	書籍
327	7-0多文化8	多文化教育を拓く	明石書店	書籍
328	7-0多文化9	多文化・人権教育学校をつくる	明石書店	書籍
329	7-0多文化10	雨森芳洲と朝鮮通信使かるた	雨森芳洲庵	かるた
330	7-0多文化11	歴史教科書 在日コリアンの歴史	明石書店	書籍
331	7-0多文化12	滋賀のなかの朝鮮	明石書店	書籍
332	7-0多文化13	外国人のためのお弁当 (3ヶ国語:日・中・英語)	関西生命線	書籍

国際教育・開発教育 貸出教材目録

333	7-0多文化14	多文化共生保育Q&A			大阪保育子育て人権情報研究センター	ブックレット
334	7-0多文化15	アフリカ 理解ハンドブック	ーアフリカと私たち		アフリカ日本協議会	ブックレット
335	7-0多文化16	くらべてみよう！	日本と世界の 食べ物と文化		講談社	書籍
336	7-0多文化17	ババラギ			立風書房	絵本
337	7-0多文化18	世界のあいさつ			福音館書店	絵本
338	7-0多文化19	見る・つくる・知る	おしゃれなアフリカ1 アフリカンドレス		明石書店	書籍
339	7-0多文化20	見る・つくる・知る	おしゃれなアフリカ2 アフリカンキッチン		明石書店	書籍
340	7-0多文化21	見る・つくる・知る	おしゃれなアフリカ3 アフリカンリビング		明石書店	書籍
341	7-0多文化22	たくさんのふしぎ傑作集	手で食べる？		福音館書店	絵本
342	7-0多文化23	たくさんのふしぎ傑作集	いっぽんの鉛筆のむこうに		福音館書店	絵本
343	7-0多文化24	世界のじゃんけん			今人舎	書籍
344	7-0多文化25	世界の外あそび			今人舎	書籍
345	7-0多文化26	韓国・朝鮮と出会おう			国土社	書籍
346	7-0多文化27	中国と出会おう			国土社	書籍
347	7-0多文化28	フィリピンと出会おう			国土社	書籍
348	7-0多文化29	ブラジルと出会おう			国土社	書籍
349	7-0多文化30	多文化子どもの歌集 (CD付)			明石書店	ブックレット・CD
350	7-0多文化31	朝鮮をどう教えるか			解放出版社	書籍
351	7-0多文化32	オーストラリア発見 (対訳本・ビデオ2本付)			寮日交流基金	ブックレット・ビデオ
352	7-0多文化33	いろいろな国・いろいろなことば	全6巻 (ビデオ付)		ポプラ社	絵本・ビデオ
353	7-0多文化34	ワールドカップメモリーゲーム (2セット)			アンネさん作	ワークキット
354	7-0多文化35	ひょうたん島問題 ～多文化共生をめざして～ (CD付)			デジタルマジック	ワークキット
355	7-0多文化36①②	ブラジルボックス			滋賀県国際協会	ワークキット
356	7-0多文化37①②	かるた “わたしん家の食事から”			滋賀県国際協会	ワークキット
357	7-0多文化38	多文化共生キーワード事典			明石書店	書籍
358	7-0多文化39	ニューカマーの子どもと学校文化			勁草書房	書籍
359	7-0多文化40	外国人の子どもと日本の教育			東京大学出版会	書籍
360	7-0多文化41	ブエノス・ディアス、ニッポンー外国人が生きる「もうひとつのニッポン」			ラティーナ	書籍
361	7-0多文化42	多文化保育論			学文社	書籍
362	7-0多文化43	乳幼児とその家族への早期支援			北大路書房	書籍
363	7-0多文化44	シミュレーション教材「ひょうたん島問題」			明石書店	書籍
364	7-0多文化45	多文化共生社会と外国人コミュニケーションの力			現代人文社	書籍
365	7-0多文化46	顔の見えない定住化			名古屋大学出版会	書籍
366	7-0多文化47	「多文化パワー」社会ー多文化共生を超えて			明石書店	書籍
367	7-0多文化48	まんが クラスメイトは外国人 多文化共生20の物語			明石書店	書籍
368	7-0多文化49	世界あちこちゆかいな家めぐり			福音館書店	書籍
369	7-0多文化50	トイレのおかげ			福音館書店	書籍

国際教育・開発教育 貸出教材目録

370	7-0多文化51	絵本で育てる情報分析力		一社社	書籍
371	7-0多文化52	"多文化共生社会の保育者一ぶつかってもだいじょうぶ"		北大路書房	書籍
372	7-0多文化53	異文化コミュニケーション新・国際人への条件		有斐閣選書	書籍
373	7-0多文化54	絵本 世界の食事①<<フランスのごはん>>		農文協	書籍
374	7-0多文化55	絵本 世界の食事②<<インドのごはん>>		農文協	書籍
375	7-0多文化56	絵本 世界の食事③<<韓国のごはん>>		農文協	書籍
376	7-0多文化57	絵本 世界の食事④<<イタリアのごはん>>		農文協	書籍
377	7-0多文化58	絵本 世界の食事⑤<<メキシコのごはん>>		農文協	書籍
378	7-0多文化59	絵本 世界の食事⑥<<ドイツのごはん>>		農文協	書籍
379	7-0多文化60	絵本 世界の食事⑦<<ブラジルのごはん>>		農文協	書籍
380	7-0多文化61	絵本 世界の食事⑧<<中国のごはん>>		農文協	書籍
381	7-0多文化62	絵本 世界の食事⑨<<タイのごはん>>		農文協	書籍
382	7-0多文化63	絵本 世界の食事⑩<<トルコのごはん>>		農文協	書籍
383	7-0多文化64	絵本 世界の食事⑪<<モンゴルのごはん>>		農文協	書籍
384	7-0多文化65	絵本 世界の食事⑫<<フィンランドのごはん>>		農文協	書籍
385	7-0多文化66	絵本 世界の食事⑬<<ベトナムのごはん>>		農文協	書籍
386	7-0多文化67	絵本 世界の食事⑭<<スペインのごはん>>		農文協	書籍
387	7-0多文化68	絵本 世界の食事⑮<<ペルーのごはん>>		農文協	書籍
388	7-0多文化69	The World of Street Food Easy quick meals to cook at home		ニュー・インターナショナル・ジャパン	書籍
389	7-0多文化70	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語		アフリカ理解プロジェクト	書籍
390	7-0多文化71	非識字体験ゲーム 「ここは、何色?」「はじめてのお見舞い」		滋賀県国際協会	ワークキット
391	7-0多文化72	「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起った? (震災編)		滋賀県国際協会	ワークキット
392	7-0多文化73	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜 第1巻 生きる知恵		学研教育出版	書籍
393	7-0多文化74	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜 第2巻 人情		学研教育出版	書籍
394	7-0多文化75	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜 第3巻 損得と運		学研教育出版	書籍
395	7-0多文化76	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜 第4巻 才能と経験		学研教育出版	書籍
396	7-0多文化77	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜 第5巻 世の中		学研教育出版	書籍
397	7-0多文化78	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜 第6巻 ことわざのいろいろ		学研教育出版	書籍
398	7-0多文化79	私も「移動する子ども」だった 異なる言語の間で育った子どもたちのライフストーリー		くろしお出版	書籍
399	7-0多文化80	在日コリアン女性20人の軌跡		明石書店	書籍
400	7-0多文化81	ぐずぐず言わせて! わたしらの居場所 「わたしのこと」シリーズ vol.2		(財)神奈川県国際交流協会	書籍
401	7-0多文化82	先住民族とESD		立教大学ESD研究センター	書籍
402	7-0多文化83	続・先住民族とESD		立教大学ESD研究センター	書籍
403	7-0多文化84	教材『CHAMPURREANDO〜世界のウチナーンチュ発! 多文化共生』		NPO法人沖繩NGOセンター	教材セット
404	7-0多文化85	世界のウチナーンチュかるたチャンプレアランド 日本語+英語版		NPO法人沖繩NGOセンター	カルタ
405	7-0多文化86	3・11後の多文化家族		明石書店	書籍
406	7-0多文化87	外国にルーツを持つ子どもたち 思い・制度・展望		(財)アジア・太平洋人権情報センター	書籍

国際教育・開発教育 貸出教材目録

407	7-0多文化88	いつだって、そばにいるよ。		NTT出版	書籍
408	7-0多文化89	未来をつくる教育ESD—持続可能な多文化社会をめざして		明石書店	書籍
409	7-0多文化90	異文化間教育—文化間移動と子どもの教育		明石書店	書籍
410	7-0多文化91	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば1 にほんご・えいご・ポルトガル語・スペインご		偕成社	絵本
411	7-0多文化92	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば2 にほんご・えいご・ポルトガル語・スペインご		偕成社	絵本
412	7-0多文化93	フィリピンかあちゃん奮闘記 in ジャパン		文化社	書籍
413	7-0多文化94	異文化理解入門		平凡社	書籍
414	7-0多文化95	外国人から見えたニッポン		ディスカヴァー・トゥエンティワン	書籍
415	7-0多文化96	Playtime		Oxfam	英語絵本
416	7-0多文化97	Bicycles		Oxfam	英語絵本
417	7-0多文化98	Home		Oxfam	英語絵本
418	7-0多文化99	Our Animals		Oxfam	英語絵本
419	7-0多文化100	At School		Oxfam	英語絵本
420	7-0多文化101	ぼく、いいもの いっぱい～日本語で学ぶ子どもたち～		子どもの未来社	絵本
421	7-0多文化102	わたしが外人だったころ		福音館書店	絵本
422	7-0多文化103	ビビのアフリカ旅行		ポプラ社	書籍
423	7-0多文化104	まんがで学ぶ 世界の宗教		あさ出版	書籍
424	7-0多文化105	絵本で学ぶイスラームの暮らし		あすなろ書房	絵本
425	7-0多文化106	アラブから こんにちはは 灼熱、イスラーム、魔人、子育て—未知なるアラブの生活事情		国書刊行会	書籍
426	7-0多文化107	アイ アム ジャパニーズ これがハーフ芸人の生きる道		ワニブックス	書籍
427	7-0多文化108	ハーフが美人なんて妄想ですから！！ 困った「純ジャパ」との闘いの日々		中央公論新社	書籍
428	7-0多文化109①②	わたしん家の食事から カードゲーム版		(公財)滋賀県国際協会	ワークキット
429	7-1多文化1	アニニヨハンムニカ 素顔の韓国 サワデリカー ほほ笑みの国・タイ		アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
430	7-1多文化2	スラムシアン インドネシアの子どもたち		アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
431	7-1多文化3	マブハイ 陽気なフィリピンの子どもたち		アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
432	7-1多文化4	となりに生きる外国人		アジア太平洋資料センター	ビデオ
433	7-1多文化5	国際理解 はじめの一步 インドネシア・バリ島編		インドネシア教育振興会	CD
434	7-1多文化6	Ciranda,Cirandinha		多文化共生センター	CD
435	7-1多文化7	孤独なツバメたち～デカセキの子供に生まれて～		TOブックス	DVD
436	7-1多文化8	ナニジン?-トモダチ作戦-		(公財)とよなか国際交流協会	DVD
437	7-1多文化9	こんばんは 豊田区立文花中学校夜間学級		「こんばんは」全国上映	
438	8-0写真1	百年の愚行		紀伊国屋書店	書籍
439	8-0写真2	「ゴミと宝石」 フィリピン、スモーカーマウンテンの子供たち		第三書館	書籍
440	8-0写真3	イラクに生きる I love Iraq		国土社	書籍
441	8-0写真4	INDIA Fairs&Festivals		学研	書籍
442	8-0写真5	Who? 報道されないアフガンの素顔		平和出版	書籍
443	8-0写真6	地球の仲間たち フォトランゲージ アメリカ合衆国		開発教育を考える会	ワークキット

国際教育・開発教育 貸出教材目録

444	8-0写真7	地球の仲間たち	フォトランゲージ	エクアドル	開発教育を考える会	ワークキット
445	8-0写真8	地球の仲間たち	フォトランゲージ	エチオピア	開発教育を考える会	ワークキット
446	8-0写真9	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ガーナ	開発教育を考える会	ワークキット
447	8-0写真10	地球の仲間たち	フォトランゲージ	コートジボアール	開発教育を考える会	ワークキット
448	8-0写真11	地球の仲間たち	フォトランゲージ	コスタリカ	開発教育を考える会	ワークキット
449	8-0写真12	地球の仲間たち	フォトランゲージ	コロンビア	開発教育を考える会	ワークキット
450	8-0写真13	地球の仲間たち	フォトランゲージ	スリランカ	開発教育を考える会	ワークキット
451	8-0写真14	地球の仲間たち	フォトランゲージ	中国	開発教育を考える会	ワークキット
452	8-0写真15	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ニカラグア	開発教育を考える会	ワークキット
453	8-0写真16	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ニジェール	開発教育を考える会	ワークキット
454	8-0写真17	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ネパール (ニッキー)	開発教育を考える会	ワークキット
455	8-0写真18	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ネパール (プラサンタ)	開発教育を考える会	ワークキット
456	8-0写真19	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ハンガリー	開発教育を考える会	ワークキット
457	8-0写真20	地球の仲間たち	フォトランゲージ	パキスタン	開発教育を考える会	ワークキット
458	8-0写真21	地球の仲間たち	フォトランゲージ	バヌアツ	開発教育を考える会	ワークキット
459	8-0写真22	地球の仲間たち	フォトランゲージ	バプアニューギニア	開発教育を考える会	ワークキット
460	8-0写真23	地球の仲間たち	フォトランゲージ	パラグアイ	開発教育を考える会	ワークキット
461	8-0写真24	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ブルガリア	開発教育を考える会	ワークキット
462	8-0写真25	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ホンジュラス	開発教育を考える会	ワークキット
463	8-0写真26	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ボツワナ	開発教育を考える会	ワークキット
464	8-0写真27	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ボリビア	開発教育を考える会	ワークキット
465	8-0写真28	地球の仲間たち	フォトランゲージ	モルディブ	開発教育を考える会	ワークキット
466	8-0写真29	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ラオス	開発教育を考える会	ワークキット
467	8-0写真30	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ヨルダン	開発教育を考える会	ワークキット
468	8-0写真31	地球家族			TOTO出版	写真書籍
469	8-0写真32	続地球家族			TOTO出版	写真書籍
470	8-0写真33	地球の食卓			TOTO出版	写真書籍
471	8-0写真34	祝祭 世界の祭り・民族・文化			クレオ	写真書籍
472	8-0写真35	地球人記			福音館書店	写真書籍
473	8-0写真36	地球人生活記			福音館書店	写真書籍
474	8-0写真37	地球家族フォトランゲージ版			国際理解教育センター	写真
475	8-0写真38①②	地球家族フォトランゲージ版 (A4版)			国際理解教育センター	写真
476	8-0写真39	地球家族フォトランゲージ版 (A3版)			国際理解教育センター	写真
477	8-0写真40	地球の食卓フォトランゲージ (B4版)			国際理解教育センター	写真
478	8-0写真41	MONO変身図鑑			JICA	写真、CD
479	8-0写真42	写真集「ギフト」	GLIFT to children of Angkor		マガジンハウス	書籍
480	8-0写真43	地球の仲間たち	CD-Rom版		開発教育を考える会	CD

国際教育・開発教育 貸出教材目録

481	8-0写真44①②	写真で学ぼう！ 地球の食卓 学習プラン10	開発教育協会	写真、解説書
482	8-0写真45	地球のごはん 世界30カ国80人のいただきます	TOTO出版	写真書籍
483	8-0写真46	トランクの中の日本 米従軍カメラマンの非公式記録	小学館	写真書籍
484	9-0メディア1	ニュースに耳を傾ける ブローバル・エキスポレス第1号	開発教育協会	ブックレット
485	9-0メディア2	攻撃を超えて ブローバル・エキスポレス第2号	開発教育協会	ブックレット
486	9-0メディア3	雑民 ブローバル・エキスポレス第3号	開発教育協会	ブックレット
487	9-0メディア4	イラク グローバル・エキスポレス第4号	開発教育協会	ブックレット
488	9-0メディア5	戦争報道 ブローバル・エキスポレス第5号	開発教育協会	ブックレット
489	9-0メディア6	メディア・リテラシー【入門編】	リベルタ出版	書籍
490	9-0メディア7	NIE ワークシート 100例	晩成書房	書籍
491	9-0メディア8	時事問題を教室へーグローバルエキスポレス(無料ダウンロード版)	開発教育協会	
492	10-0子ども1	アジアの子ども	明石書店	書籍
493	10-0子ども2	シエラレオネ 5歳まで生きられない子どもたち	アートン	書籍
494	10-0子ども3	こどもの権利を買わないで-ブンとミ-チャのものごと(英訳付)	自由国民社	絵本
495	10-0子ども4	「日本の子どもは何をして働いているの?」	国際子ども権利センター	絵本
496	10-0子ども5	世界の子どもたち NGOの現場から	明石書店	書籍
497	10-0子ども6	ロサーリオの死 -少女の残したのもの-	日本ユニセフ協会	書籍
498	10-0子ども7	子ども地球白書2002-2003	朔北社	書籍
499	10-0子ども8	児童の権利に関する条約	外務省	ブックレット
500	10-0子ども9	世界の子どもたちに今おきていること	日本ユニセフ協会	書籍
501	10-0子ども10	多発する少女買春 子どもを買う男たち	新評論	書籍
502	10-0子ども11	子どもたちのアフリカ	岩波書店	書籍
503	10-0子ども12	「ストリートチルドレン・100人の子どもたち」教材パッケージ (ビデオ2本付)	シャブラニール	ワークキット・ビデオ
504	10-0子ども13	わたし8歳、カカオ畑で働きつけて	ACE	書籍
505	10-0子ども14	ワークショップ『大切なものは何ですか?』～こどもたちがうつつしたカンボジアの今	エデュケーショナル・サポート・センター (Edu)	ワークキット
506	10-0子ども15	スクールセクシャルハラスメント	国際子ども権利センター	書籍
507	10-0子ども16	子どもの権利条約カードとユニセフポスターセット		ワークキット
508	10-0子ども17	おいしいチョコレートの真実～働く子どもたちとわたしたちとのつながり～	ACE	ワークキット
509	10-0子ども18	もたないばあさんと考えよう世界のこと	講談社	書籍
510	10-0子ども19	ぼくら地球市民1 戦争なんてもうやめて	大月書店	書籍
511	10-0子ども20	ぼくら地球市民2 キッズパワーが世界を変える	大月書店	書籍
512	10-0子ども21	ぼくら地球市民3 わたしと地球の約束	大月書店	書籍
513	10-0子ども22	どこにいるかわかる?	こぐま社	絵本
514	10-0子ども23	世界の子どもたちは今一子ども兵士	リブリオ出版	書籍
515	10-0子ども24	世界の子どもたちは今一児童労働	リブリオ出版	書籍
516	10-0子ども25	世界の子どもたちは今一子どもの人身売買	リブリオ出版	書籍
517	10-0子ども26	『ぼくは12歳、路上で暮らしはじめたわけ。——私には何ができますか? その悲しみがなくなる日を夢見て』	合同出版	書籍

国際教育・開発教育 貸出教材目録

518	10-0子ども27	子どもの参加を促すガイド		jinne	書籍
519	10-0子ども28	貧しい国で女の子として生きるといこうと 開発途上国からの5つの物語		遊タイム出版	書籍
520	10-0子ども29	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2011 女の子と女性の教育		「世界中の子どもに教育を」キャンペーン事務局	ワークキット
521	10-0子ども30	おかえり、またあえたね ストリートチルドレン・トトのものがたり		東京書籍	書籍
522	10-0子ども31	ダイヤモンドより平和がほしいー子ども兵士・ムリアの告白		汐文社	書籍
523	10-0子ども32	このTシャツはどこからくるの？-フアッシュヨンの裏側になる児童労働の真実-		(特活) ACE	ワークキット
524	10-0子ども33	わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。		合同出版	書籍
525	10-0子ども34	ぼくがラーマン たべるととき		教育画劇	絵本
526	10-1子ども1	I am child! 働かされる子供たち		ILO	ビデオ
527	10-1子ども2	STOP CHILD LABOUR		ILO	ビデオ
528	11-0地図1	くらべてわかる世界地図① 暴力の世界地図		大月書店	書籍
529	11-0地図2	くらべてわかる世界地図② 学校の世界地図		大月書店	書籍
530	11-0地図3	くらべてわかる世界地図③ ジェンダーの世界地図		大月書店	書籍
531	11-0地図4	くらべてわかる世界地図④ 福祉の世界地図		大月書店	書籍
532	11-0地図5	くらべてわかる世界地図⑤ 文化の世界地図		大月書店	書籍
533	11-0地図6	ワールドバンクミニアトラス		シュプリンガー・フェアラーク東京	書籍
534	11-0地図7	食料の世界地図		丸善	書籍
535	11-0地図8	NHKスペシャル データマップ63億人の地図 いのちの地図帳		アスコム	書籍
536	11-0地図9①②	No Longer Down Under		Hallifax	地図
537	11-0地図10	世界がみえる 地図の絵本		あすなろ書房	絵本
538	11-0地図11①②	Mapping our World		Oxfam	ブックレット
539	11-0地図12	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2003年版		成美堂出版	書籍
540	11-0地図13	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2005年版		成美堂出版	書籍
541	11-0地図14	今がわかる 時代がわかる 日本地図 2005年版		成美堂出版	書籍
542	11-0地図15	Hunger Map もう一枚の世界地図		国際連合世界食糧計画	ブックレット
543	11-0地図16	Hunger Map ハンガーマップ		国際連合世界食糧計画	ワークキット
544	11-0地図17	イエティを探せ		ゆまに書房	絵本
545	11-0地図18	ピーター図マップ		Oxfam	地図
546	11-0地図19	世界地図 (アフリカ中心)			地図
547	11-0地図20	<文化の世界地図> 大型地図		グローバルみらい塾	地図
548	11-0地図21	<文化の世界地図> 解説冊子		グローバルみらい塾	冊子
549	11-0地図22	EARTH at NIGHT 宇宙から見た夜の地球 授業指導例 (ポスター) 指導書付き		エネルギー教育全国協議会事務局	地図
550	11-0地図23	MAPS 新・世界地図		徳間書店	地図
551	12-0国際協力①②③	JICA フォトランゲージキット		国際協力事業団	ワークキット
552	12-0国際協力2	いま私たちにできること		国際協力事業団	ブックレット
553	12-0国際協力3①②	ミレニアム開発目標 ともに生きる地球市民		外務省	ブックレット
554	12-0国際協力4	人口問題 ブリーフィング・キット2001		アジア人口・開発協会	ブックレット

国際教育・開発教育 貸出教材目録

555	12-0国際協力5	世界人口白書2002 人々・貧困・ひろがる可能性	アジア人口・開発協会	ブックレット
556	12-0国際協力6	世界子供白書2003	ユニセフ	ブックレット
557	12-0国際協力7	世界子供白書2004	ユニセフ	ブックレット
558	12-0国際協力8	世界子供白書2005 危機に晒される子どもたち	ユニセフ	ブックレット
559	12-0国際協力9	世界子供白書2006 存在しない子どもたち	ユニセフ	ブックレット
560	12-0国際協力10①②	開発のための教育	ユニセフ	ブックレット
561	12-0国際協力11①②	地球のともだち ユニセフワークブック	ユニセフ	ブックレット
562	12-0国際協力12①②	「総合的な学習の時間」とユニセフ	ユニセフ	ブックレット
563	12-0国際協力13	わたしの権利 みんなの権利	ユニセフ	ブックレット
564	12-0国際協力14①②	子どもの権利条約 カードブック	ユニセフ	ブックレット
565	12-0国際協力15①②	ユニセフと世界のともだち	ユニセフ	ブックレット
566	12-0国際協力16①②	国際理解カード	国際協力推進協会	ワークブック
567	12-0国際協力17	学校と地域がつくる国際理解教育	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
568	12-0国際協力18	学校と地域がつくる国際理解教育 NGO編	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
569	12-0国際協力19	授業に役立つ総合学習の手引き 平成11年度高校教師海外研修に参加して	国際協力事業団	ブックレット
570	12-0国際協力20	国際理解教育の手引き 先生が見てきた国際協力の舞台 H12中学校	国際協力事業団	ブックレット
571	12-0国際協力21	国際理解教育の手引き 地球を枕に夢を見よう H12高校	国際協力事業団	ブックレット
572	12-0国際協力22	国際理解教育の手引き H13高校	国際協力事業団	ブックレット
573	12-0国際協力23	国際理解教育の手引き H13中学校	国際協力事業団	ブックレット
574	12-0国際協力24	国際理解教育の手引き H14高校	国際協力事業団	ブックレット
575	12-0国際協力25	国際理解教育の手引き H15小学校	国際協力事業団	ブックレット
576	12-0国際協力26	協力隊体験を伝えよう2 生きる力を育てるワークショップ集	青年海外協力協会	ブックレット
577	12-0国際協力27	国連ってなあに？	国連広報センター	ブックレット
578	12-0国際協力28	みんなの国連	国連広報センター	ブックレット
579	12-0国際協力29	いっしょにやろうよ 国際ボランティアNGOガイドブック	三省堂	書籍
580	12-0国際協力30	市民参加で世界を変える	朝日新聞社	書籍
581	12-0国際協力31	せかいじゅうにおともだちをつくろう	国際協力推進協会	紙芝居
582	12-0国際協力32	食べものから世界が見える、どこからきたの？	国際協力推進協会	紙芝居
583	12-0国際協力33	ごはんのこしていいの？	国際協力推進協会	紙芝居
584	12-0国際協力34	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本	開発教育協会	書籍
585	12-0国際協力35	国際協力と開発教育－「援助」の近未来を探る	明石書店	書籍
586	12-0国際協力36	「国際協力」をやってみませんか？仕事として、ボランティアで、普段の生活でも	小学館	書籍
587	13-0韓国文化1	一目で見える韓国	太田次郎社	絵本（ハングル）
588	13-0韓国文化2	壇君神話	太田次郎社	絵本（ハングル）
589	13-0韓国文化3	一目で見える韓国の歴史	太田次郎社	絵本（ハングル）
590	13-0韓国文化4	高句麗への旅	太田次郎社	絵本（ハングル）
591	13-0韓国文化5	韓国の伝統（的生活）	太田次郎社	絵本（韓英）

国際教育・開発教育 貸出教材目録

592	13-0韓国文化6	韓国の遊び	太郎次郎社	絵本 (韓英)
593	13-0韓国文化7	韓国のシンボル	太郎次郎社	絵本 (韓英)
594	13-0韓国文化8	韓国の礼儀と風習	太郎次郎社	絵本 (韓英)
595	13-0韓国文化9	韓国へ行こう！	太郎次郎社	絵本 (韓英)
596	13-0韓国文化10	ソウルへ行こう！	太郎次郎社	絵本 (韓英)
597	13-0韓国文化11	栗谷李珥	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
598	13-0韓国文化12	世宗大王	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
599	13-0韓国文化13	李舜臣	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
600	13-0韓国文化14	安重根	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
601	13-0韓国文化15	柳順寛	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
602	13-0韓国文化16	金九	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
603	13-0韓国文化17	興夫と懶夫	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
604	13-0韓国文化18	お日さまとお月さま	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
605	13-0韓国文化19	青大将ソンビ	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
606	13-0韓国文化20	孝行娘沈清	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
607	13-0韓国文化21	あずき粥婆さんと虎	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
608	13-0韓国文化22	一粒の粟で結婚した男	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
609	13-0韓国文化23	五人の力士 (力持ち)	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
610	13-0韓国文化24	新聞記者が高校生に語る 日本と朝鮮半島100年の明日	彩流社	書籍
611	13-0韓国文化24	ユンノリ物語	太郎次郎社	絵本 (ハングル)
612	13-1韓国文化1	韓国朝鮮のあいさつの言葉	太郎次郎社	ハネル*
613	13-1韓国文化2	韓国朝鮮の親族呼称	太郎次郎社	ハネル*
614	13-1韓国文化3	韓国朝鮮料理	太郎次郎社	ハネル*
615	13-1韓国文化4	民族衣装と紐の結び方	太郎次郎社	ハネル
616	13-1韓国文化5	初誕生日の服と婚礼服	太郎次郎社	ハネル
617	13-1韓国文化6	千字文	太郎次郎社	ハネル*
618	13-1韓国文化7	ハングル	太郎次郎社	ハネル*
619	13-1韓国文化8	ウリナラ旅行図と半島図	太郎次郎社	ハネル*
620	13-1韓国文化9	生活案内標示・交通安全標識	太郎次郎社	ハネル*
621	13-1韓国文化10	不思議な体	太郎次郎社	ハネル*
622	13-1韓国文化11	図形	太郎次郎社	ハネル
623	13-1韓国文化12	色	太郎次郎社	ハネル
624	13-1韓国文化13	数字	太郎次郎社	ハネル*
625	13-1韓国文化14	動物	太郎次郎社	ハネル*
626	13-1韓国文化15	果物・野菜	太郎次郎社	ハネル*
627	14-0移民 1	カリナのブラジルとニッポン	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居
628	14-0移民 2	弁当からミックスプレートへ	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居

国際教育・開発教育 貸出教材目録

629	14-0移民3	ハワイにわたった日系移民	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居
630	14-0移民4	海を渡った日本人	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居
631	14-0移民5	移民カルタ	JICA横浜海外移住資料館	カルタ
632	14-0移民6	目で見えるブラジル日本移民の百年	風響社	写真集
633	14-0移民7	日本・ブラジル 移民カルタ	JICA横浜海外移住資料館	カルタ

国際教育 講師派遣 プログラムのご案内

(公財) 滋賀県国際協会では、次代を担う子どもたちを国際的に活躍できるグローバル人材として育成するため、国際教育の普及に努めています。

そこで、**当協会発行オリジナル教材を活用した**授業・研修会への講師を**無償**で派遣することとなりました。

総合学習などへの講師の派遣や出前講座、教材貸出などをさらに積極的に進め、多くの子どもたちが国際感覚を身に付けられるよう支援します。



また、学校現場で自ら国際教育を実践できる教員が増えるよう教員対象の研修会などへの講師派遣も引き続き行っています。

講師派遣件数について

滋賀県内 年間 15 件 程度

(※新規依頼校を優先して派遣します。)

当協会発行オリジナル教材の紹介

国際教育研究会 Glocal net Shiga が外国人住民の方々と協力して、開発したオリジナル教材です。



ブラジルボックス

滋賀県に暮らす外国人で最も多いのは、ブラジルの方です。スーツケースの中にブラジルの文化を紹介する小物や写真等をたくさん集めました。身近に触れる機会が多いブラジルをこのボックスを通して感じませんか。



非識字体験ゲーム「ここは、何色?」「はじめてのお見舞い」

言葉(文字)がわからない・読めないことから生じる不安な気持ちや、そのことからのような不利益を被るかなどを疑似体験できる教材。この学習を通して、途上国の識字率の低さについて関心を高めたり、すべての人にとって暮らしやすい多文化共生の社会づくりのために必要な取り組みについて考えたりする学習などに活用いただけます。

わたし家の食事から カードゲーム版

滋賀県に暮らす外国人住民の協力のもと製作した「カルタ わたし家の食事から」を「カードゲーム版」としてリニューアルしました。世界の豊かな食文化について学ぶと同時に、世界の多様な文化について関心を高め、ちがいを尊重できる姿勢を育むアクティブラーニングに適した教材です。



「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起った? (震災編)

「言葉が通じないところで、大地震に遭遇したら...?」という設定のシミュレーションゲーム。動画を使いながら、安心・安全に避難できるかを疑似体験する内容になっています。日本語から情報を得ることに難しさを感じる方々の日々の生活での苦労や不安について、さらに広く理解を促すために開発した教材です。



お申込みから講師派遣までの流れ

1. 問合せ

講座を実施したい日の少なくとも1ヵ月前までに、下記連絡先宛てにご連絡ください。

2. 必要書類の提出

所定の申込書を、ご郵送・FAX・MAIL のいずれかでご提出ください。また、事前事後学習の予定や講座の位置付けがわかる年間計画

画などがあれば、あわせてご提出をお願いします。

3. 打合せ

講師が決定次第、講師名と連絡先についてご連絡します。直接講師に連絡を取り、期待する学習のねらいや内容、準備物など細かい段取りについて打合せを行ってください。

4. 講座の実施

5. 報告書の提出

実施後、児童生徒・受講者の感想などをご報告ください。



出前授業プログラム例

わたしん家の食事から カードゲーム版 「世界の多様な食文化を理解しよう！」

1) カード合わせゲーム体験

9 か国出身の方々の食文化について、まずは個々に穴埋めシートに回答を予想して記入しよう。次に、グループで協力して、回答にあった絵カードの組み合わせとなるようにグループで相談しながらカードを揃えよう！

**→グループで相談しながら進めるので
まさにアクティブラーニング！**

2) 答え合わせ

3) ふりかえり 全体での感想・発見の共有

**→初めて知ったこと、驚いたこと、
不思議に感じたことは、どんなこと？**

4) 解説

文化・風習・宗教など、様々な背景をもとに世界の多様な文化について解説します。

何が起きた？(震災編)

「ピクトグラム(絵文字)を作ってみよう！」

1) 何が起きた？(震災編)の体験

→言葉が通じない所で震災に遭遇したら…

2) 誰にでもわかる避難所の看板を作ろう

子どもからお年寄り、外国の方など、誰にでも理解できる「避難所」を示す看板を作ってみよう！

3) 作品発表

どんな点に工夫や配慮したかについて、グループ発表しよう。

→私たちの町の標示は、誰にとってもわかりやすくなっている？



その他、学習のねらいに沿ったプログラムをご提案し、ご要望にお応えします。

滋賀県国際交流員など外国人ゲストの派遣についても対応いたします。

お気軽にご相談、お問い合わせください。

ここは、何色？

「言葉がわからないって、どんな気持ち？」

1) ここは、何色？の体験

世界各国の言語で書かれた色を示す単語を色辞書ポスターから探し出し、シートに色付けしてみよう！楽しいぬり絵アクティビティー。

→どんな困柄がで上がるのかな！？

2) 文字から情報が得られない人の気持ちって？

外国人ゲストから、日本語がわからなかった時の気持ちや日常生活で困ったことなどについて聞いてみよう。(外国にルーツを持つ人の体験談を読んでみよう。)

**→身の回りに言葉がわからず困っている人はいないかな？
どのような配慮が必要なのか考えてみよう。**

お問合せ・お申込先

(公財) 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2 階

(電話) 077-526-0931

(FAX) 077-510-0601

(E-mail) siamail@mx.bw.dream.jp

(HP) <http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/index.htm>

国際教育 地球市民を地域とともに育てよう Part15 報告書

発行日 平成29年（2017年）3月

発行 公益財団法人滋賀県国際協会

〒520-0801 滋賀県大津市おの浜1-1-20

ピアザ淡海2階

電話 077-526-0931

FAX 077-510-0601

E-mail siamail@mx.bw.dream.jp

URL <http://www.s-i-a.or.jp>

印刷 佐々木印刷有限公司



分科会1
「グローバル化する世界の現状を学ぶ
『貿易ゲーム』」



分科会2
「難民すごろく…シリア版
～難民問題からひろげる学び～」



分科会3
「世界一大きな授業2016
～すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。～」



分科会4
「異文化理解から多文化共生へ
～共に生きる社会をめざして～
JICA教師海外研修実践授業報告」